



## 第4回 小美玉市新まちづくり構想 実施計画策定委員会 実施計画素案と整備計画の検討

小美玉市  
2026年1月30日

# 目次

---

1. 本策定委員会のスケジュール及び検討経緯 P.3

---

2. 民間事業者サウンディング概要 P.10

---

3. 事業スキーム P.15

---

4. 実施計画 素案 P.18

---

5. 新交流拠点 P.19

---

① 施設配置計画 P.19

---

② デザイン・展示の方向性 P.32

---

③ ご議論いただきたい事項 P.39

---

---

6. 空のえき「そら・ら」 P.41

---

① 施設配置計画 P.41

---

② デザインの方向性 P.59

---

③ ご議論いただきたい事項 P.65

---

7. 百里基地・自衛隊との連携 P.67

---

# 1. 本策定委員会のスケジュール及び検討経緯

本日は、サウンディングによる民間意向、実施計画の素案、現時点での最新図面やパース等をご提示しますので、みなさまのご意見を頂戴したいと考えております

## 今年度の事業スケジュール

▼本日 (1/30)

		2025/R7						2026/R8		
		7	8	9	10	11	12	1	2	3
マイルストーン				▼アンケート等による市民意見の聴取			オープンハウス等による市民説明・意見聴取▼			答申▼ 実施計画策定▼
本委員会 (5回程度予定)		第1回 キックオフ・現状と 課題の共有	第2回 導入機能と 利用イメージの検討			第3回 施設整備計画の具体化	第4回 実施計画素案と 整備計画の検討		第5回 最終案とりまとめ	
実施計画の 検討	エリア及び 施設整備計画	・上位計画・関連計画・ エリアの整理検討 ・導入機能・施設規模 の検討		・設計条件の整理 ・建築計画の検討		・外構の検討 等		・実施計画としての とりまとめ		
	事業計画	・各施設の管理運営方針の検討				・事業収支の検討				
	民間活力等 導入可能性調査	・事業スキームの初期的検討			・サウンディングの実施 (準備含む)					

# 本日は、実施計画素案の確認と事業性の検討を主要議題とします

## 新まちづくり構想実施計画策定委員会の主要議題及び議論のポイント

回	主要議題	委員会における議論のポイント
第1回 R7.7.23	キックオフ・現状と課題の共有	新まちづくり構想実施計画策定スケジュール及び提案について
第2回 R7.9.1	導入機能・利用イメージに係る検討	導入すべき機能や施設規模の適正化、利用者のすみ分けや一体性を考慮した構成、施設の利用イメージや百里基地等との連携方策について
第3回 R7.11.25	施設整備計画の具体化に係る検討	本事業の全体像及び導入機能の詳細やゾーニング、施設配置案について
第4回 R8.1.30（本日）	実施計画素案と整備計画の検討	【報告】実施計画の素案（全体構成）サウンディング結果、事業スキーム）について 【協議】新交流拠点計画、そ・ら・ら拡張整備計画、百里基地・自衛隊との交流機能
第5回 R8.3	最終案とりまとめ	【報告】実施計画（最終案）について

# 第1回策定委員会にて、各委員から空間の効果的・効率的活用、環境保全、ターゲットと利用イメージ、事業スケジュール、市民の意向把握等に関する議論がなされました

## 第1回実施計画策定委員会を踏まえた今後の検討方向性

第2回策定委員会資料より抜粋

大項目	論点・ポイント	主な発言内容			今後の検討方向性
		全体	新交流拠点	空のえき「そ・ら・ら」	
エリア及び施設整備計画の検討	両施設の導入機能・ハート施設への要望への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供が長く滞在し遊べる空間づくりを優先すべき</li> <li>子供が室内で遊べるスペースを整備すべき</li> <li>飲食店を付設する等の工夫を凝らし、顧客数増加を図るべき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多目的スペースの1,500㎡をどのように使うのか</li> <li>稼働率を懸念、効果的・効率的な機能を導入や配置計画を検討すべき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多目的施設や売店スペースの拡張可能性、排水設備の延長</li> <li>休憩場所が少ない、滞在空間がない</li> <li>日陰を効果的に生み出せる屋根付スペースの設置を検討要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空間の効果的・効率的活用を実現する機能の構成を検討する</li> <li>休憩・滞在スペースを拡充する</li> </ul>
	環境保全	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>北山池にて絶滅危惧種のトンボが生息、制約等はないのか</li> </ul>	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備にあたっては、環境関連の法令に留意</li> </ul>
事業計画の検討	来訪者のターゲット設定とニーズ対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流人口拡大は大前提</li> <li>ターゲット選定が重要</li> <li>小中学生の遠足先、航空博物館のような学びスペース、広場で弁当を食べてもらおうこと等が考えられる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>百里基地の歴史展示について、基本的なコンセプトは考えているか</li> <li>子どもたちが航空産業、基地等について学習機会を持てる機能が望ましい</li> </ul>	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>明確なターゲット層を定める必要がある</li> <li>基地に係る展示・体験スペースのコンセプトや具体的利用イメージの検討が必要</li> </ul>
	防衛省補助金の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金の活用可能性</li> </ul>	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>防衛省補助事業の要綱に基づいて事業を進める</li> </ul>
民間活力等導入可能性調査	※特に言及なし	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>サウンディング調査の実施により検討</li> </ul>
その他	両施設の事業スケジュールの管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>両施設の整備順序はどのように考えているか</li> </ul>	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画用地の取得手法の違いから、新交流拠点の整備が先行する可能性が高い</li> </ul>
	市民の意向把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の意向も踏まえた計画とする必要有</li> </ul>	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンハウス、アンケートで市民意向を把握する</li> </ul>

# 第2回策定委員会では、各導入機能の仕様や利用イメージの具体化や多目的スペースの適性規模、2施設間の連携内容等の検討必要性が示されました

## 第2回実施計画策定委員会を踏まえた今後の検討方向性

第3回策定委員会資料より抜粋

論点・ポイント	主な発言内容		今後の検討方向性
	新交流拠点	そ・ら・ら	
導入機能・利用イメージの具体化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 体育館（スポーツ）機能は橘運動広場（旧橘小学校体育館）で代替可能（事務局）</li> <li>• 子どもが楽しめる没入感の強い体験コーナー（衣装試着、映像）や、課外学習で利用できる展示スペースの充実が必要。（委員）</li> <li>• リピーター獲得には、最新のゲーム感覚のシミュレーターと、「赤とんぼ」等プロペラ機のシミュレーターの導入が必要ではないか（委員）</li> <li>• 米軍との交流パーティ（100人以上参加）などを想定し、多目的スペースの備品等を検討する必要がある（委員）</li> <li>• 宿泊機能は需要が見込めず導入しない方針（委員）</li> </ul>	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>• シミュレーターや体験コーナー等、施設の魅力を高める各導入機能の具体的な仕様や内容を検討</li> </ul>
集客力と収益性の強化策	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 集客の核として「赤とんぼ」の実物大模型（製作費約2,000万円）やSNS発信力のあるファン層を狙ったアニメ・映画コラボが有効（委員）</li> <li>• 模型は防衛省補助金の対象になる可能性があり、指定管理を委託する上で重要な物販機能と組み合わせれば、収益性向上が見込める。（委員）</li> <li>• 防衛省補助金を利用した場合でも、過大な収益でなければ入場料の徴収は基本的に問題ない。（委員）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 物販スペースが狭いため、当施設との連携で誘客し、全体の収益を高める仕組みを検討すべき。（委員）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「赤とんぼ」模型の費用対効果や物販機能の詳細を詰め、事業計画を具体検討</li> <li>• 「そ・ら・ら」との連携方法を検討</li> </ul>
施設規模・ゾーニングの最適化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 多目的スペースは当初計画の1,500㎡から400㎡へ縮小（事務局）</li> <li>• 最終的な面積は、災害時の収容人数を算定した上で決定（委員）</li> <li>• 避難所機能は空港や「そ・ら・ら」等周辺施設と役割分担が必要（事務局）</li> </ul>	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 災害拠点としての位置づけや役割分担の確認</li> <li>• 開催イベントの想定等、多目的スペースの最適な面積を算定</li> </ul>
今後の検討プロセスと前提条件の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 具体的な議論を促進するため、委員会として現地視察を希望（委員）</li> <li>• 新機能導入の参考とするため、周辺施設の機能や利用状況を確認したい（委員）</li> <li>• 「健康づくり機能」は過去の計画の名残であり、本委員会で柔軟に議論・決定すべき問題であるとの認識が共有された（委員）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「そ・ら・ら」の改修には、補助事業の要綱に基づく制約（補助金返還リスク）があり、留意が必要（事務局）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 現地視察の実施を検討</li> <li>• 防衛省補助金の適用条件や周辺施設の制約等、計画の前提となる条件を再確認</li> </ul>

# 第3回策定委員会では、導入機能や施設配置等、各施設のハード仕様におけるご意見に加え、施設間連携やモビリティ整備、外構部分の詳細検討の必要性を示唆いただきました

## 第3回実施計画策定委員会を踏まえた今後の検討方向性

論点・ポイント	主な発言内容		今後の検討方向性
	新交流拠点	そらら	
導入機能・利用イメージの具体化	<ul style="list-style-type: none"> <li>VRとフライトシミュレーターが施設の目玉になりうる（委員）</li> <li>百里基地の歴史等を映像機能で説明、その後に体験コーナー、VR、フライトシミュレーターを設置するのが良いのではないか（委員）</li> <li>運用が終了した機体を教材として自治体に無償貸与した実績は複数ある（委員）</li> <li>日本立体に航空自衛隊の航空機の模型を製作してもらうことも検討していきたい（事務局）</li> <li>搭乗体験できるように、ガイドを配置するべきではないか（委員）</li> <li>自衛隊内で退役機を分解して提供することは技術的に難しい、三沢航空科学館のようにコックピット等の一部を切り出して展示することも考えられる。（委員）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>飲食・物販・発信ゾーンに、風通しと開放感に配慮したのある明るい広場を目指してほしい（委員）</li> <li>水遊び場やミストなどの水系施設があってもいいのではないかと（委員）</li> <li>指定管理者は車中泊スペースを用意する考えもある（事務局）</li> <li>イベントスペースでは、熱気球を飛ばすイベントを開催したいと考えており、スペースの四隅に設置する等、照明の設置場所に注意してほしい（委員）</li> <li>広いエリアかつ緑地に近いため、全てをアスファルト舗装とするのは人工的すぎる印象で景観を損ねるため、他の手法も検討いただきたい（委員）</li> </ul>	<p>【新交流拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>展示航空機模型の<b>対象機体・仕様等検討</b></li> <li>展示スペース、体験スペース、VR、シミュレーターの<b>コンテンツ検討</b></li> </ul> <p>【そらら】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>広場のイメージ具体化</b></li> <li><b>駐車場仕様</b>、駐車場利用以外の<b>利活用イメージの検討</b></li> </ul>
施設配置、仕様等の最適化	<ul style="list-style-type: none"> <li>B案を基に、調整していく方向性とする。（委員）</li> <li>建物内の諸室配置については、北山池との位置関係を考慮して設計するのが良い（委員）</li> <li>飛行機の搬入経路については、検討が必要。展示エリアに西日が入ると鑑賞を妨げてしまう可能性がある。（委員）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>そららホールBをイトインスペースとして活用しつつ、売り場スペースも拡張する想定（事務局）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新交流拠点、<b>B案の平面計画をベースに今後調整</b></li> <li>そらら、<b>平面計画・施設配置イメージを具体化</b></li> </ul>
施設運用上の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来的な渋滞緩和や防災の観点から、既存林側のアクセス経路は念頭に入れた方が良い（委員）</li> <li>既存樹木に関しては、測量時に現地の配置図の作成と併せて検討する。（事務局）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者は定休日なしかつ夜間営業を希望している。詳細は、調整中である（事務局）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者動線を考慮した<b>外構部分の設計検討</b></li> <li>営業時間等、運用上の仕様検討</li> </ul>
施設間連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>そららを含めて、北山池周辺を歩いて回遊できるような遊歩道等を整備できるとよいのではないかと（委員）</li> <li>バス等の交通手段の拡充と歩道の整備はセットで考えた方が良い。快適に歩行出来る動線も高齢化に合わせた無人バスも両方必要である（委員）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>施設間動線及び<b>モビリティ手段の具体検討</b></li> </ul>
事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>新交流拠点について令和10年と令和11年の2か年で工事し、令和12年度の供用開始を目指すスケジュールで協議している。予算的な調整から、そららと工事時期は重複しないようにする予定である（事務局）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li><b>事業スケジュールの具体検討</b></li> </ul>

# 本日は、新交流拠点及びそ・ら・らとともに、前回委員会での指摘内容及びサウンディングによる民間意向の結果を共有させていただきます

## 導入機能・利用イメージの具体化に向けた考え方

### 基本計画における 導入機能・利用イメージ

#### 新交流拠点整備

- ✓ 健康づくりを支援する機能
- ✓ 水と緑の憩いの場としての機能
- ✓ 自衛隊との交流を支援する機能
- ✓ 百里基地（基地機能）に係る様々な情報の理解の場としての機能
- ✓ 航空・防衛産業を知る動機づけの場としての機能
- ✓ 観光交流を支援する機能
- ✓ 魅力を発信する機能
- ✓ レセプション会場や滞在空間としての機能、宿泊できる機能
- ✓ 安全・安心を提供する機能
- ✓ 交通拠点としての機能

#### 空のえき「そ・ら・ら」拡張整備

- ✓ 広場機能
- ✓ 体験・交流機能
- ✓ 飲食・物販機能
- ✓ レクリエーション機能
- ✓ 情報発信機能
- ✓ エントランス機能
- ✓ 駐車場機能・調整池機能

考え方	論点	今後の検討方向性
上位計画等との整合性【済】	✓ 小美玉市や茨城県による上位計画等において、本立地に求められている役割や機能は何か	• 各上位計画での本事業エリアにおける位置づけを確認
周辺状況との親和性【済】	✓ 周辺施設と重複する機能はないか ✓ 周辺施設状況を考慮して、必要とされる機能は何か	• 本事業エリア周辺に立地している施設・機能を確認
<b>実施計画策定委員会</b>	✓ 委員会のみなさまのご見識をもとに、どのような機能を誘致すべきか	• 各策定委員会での受領コメント等を整理・反映
市民アンケート等による利用者ニーズ【済】	✓ 住民ニーズが特に期待される機能は何か	• アンケート結果を整理、反映
【そ・ら・らのみ】指定管理者へのヒアリング【済】	✓ 今後のそ・ら・らの運営、維持管理方針と実施計画の方向性に齟齬はないか	• 11/18(水)にヒアリングを実施済 • 当該意見を本計画へ反映
【そ・ら・らのみ】現運営者による課題等【済】	✓ 現時点のそ・ら・らの運営、維持管理において、どのような課題があるか	• 10/9(木)にヒアリングを実施済 • 当該意見を本計画へ反映
類似事例での導入実績【済】	✓ 茨城空港や自衛隊百里基地近接という立地を活かし、どのような機能を導入するのが望ましいか ✓ どのようなターゲットを定めているか	• 類似事例での導入機能・利用イメージを調査 • 参考とする機能、差別化を図る機能等、考え方を整理 • 【そ・ら・ら】導入機能や利用イメージごとの参考として類似施設を参照
<b>サウンディングによる民間意向</b>	✓ <b>本事業への参画可能性</b> があるか ✓ <b>民間事業者としてどのようなノウハウ</b> を活用できるか	• サウンディングを通じて、導入機能や施設構成の精査を行う • <b>第4回策定委員会にてご共有</b>

## 2. 民間事業者サウンディング概要

# 全国および県内の建設・不動産、設計、運営、遊具、シミュレータ・VR、金融の6業種、全15社に対してサウンディング調査を実施しました

## サウンディング実施概要

- 事業者数：全15社
- 実施期間：2025/12/22 ～ 2026/1/21
- 実施形式：オンライン 又は オンラインと対面の併用

#	業種区分	事業者数			事業者の概要
		合計	全国	県内	
1	建設・不動産	6	2	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全国企業：全国規模のゼネコン・デベロッパー。PPP/PFI事業の実績多数有り</li> <li>• 県内企業：茨城県内のゼネコン。小美玉市での整備実績あり</li> </ul>
2	設計	1	1	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 大手設計企業。茨城県内の文化交流拠点整備運営事業への参画実績有り</li> </ul>
3	運営	4	4	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 展示企画・製作／運営事業者。博物館や科学館等の内装設計・運営実績及びPPP/PFI事業の実績も多数有り</li> </ul>
4	遊具	1	1	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 遊具メーカー。公共施設・公園への納入実績多数有り</li> </ul>
5	シミュレータ・VR	1	1	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>• シミュレータ・VR製作企業。東京ゲームショウ2025で飛行体験が可能なVRフライトシミュレーターを公開実績あり</li> </ul>
6	金融	1	-	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域金融コンサルティング企業。茨城県内で、ビジョン策定や各種事業化支援、市場調査など公共関連コンサルティングの実績多数有り</li> </ul>

# サウンディング調査では、事業者の参画意向や希望する事業条件に加え、本計画の付加価値向上につながるアイデアについてもヒアリングしました

## サウンディングのヒアリング事項

#	ヒアリング事項	対象	主なヒアリング内容
1	関心度	新交流拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業への興味関心度について</li> </ul>
2	事業手法	新交流拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>参画時に希望する事業手法（従来方式、DB方式、DBO方式等）について</li> </ul>
3	導入機能	新交流拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示、交流、飲食、物販サービスへのアイデア、配慮すべき事項について</li> </ul>
		そらら	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントのアイデア、必要な設備の仕様、維持管理費の抑制に繋がる仕様について</li> </ul>
4	配置計画	新交流拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設構成、ゾーニングに関するアイデアについて</li> </ul>
		そらら	<ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場、広場、BBQ場の利用に関するアイデアについて</li> </ul>
5	事業期間	新交流拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計・建設・運営期間の想定期間について</li> </ul>
6	事業コスト	新交流拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地造成費、建築工事費、設計費、運営受託費などで見込まれる金額や考え方について</li> </ul>
		そらら	<ul style="list-style-type: none"> <li>拡張における土地造成費、舗装費、建築工事費などで見込まれる金額や考え方について</li> </ul>
7	立地特性・ポテンシャル	エリア全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>本対象地の立地における、強み・魅力・活かすべき点と弱み・課題について</li> </ul>
8	エリア全体の方向性	エリア全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設間の連携に関するアイデア、エリア全体の方向性について</li> </ul>
9	事業スケジュール	エリア全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業のスケジュールについて</li> </ul>
10	その他要望	エリア全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>その他事業に対する要望などについて</li> </ul>

# 施設コンセプトの明確化や展示・体験コンテンツの一貫性が魅力向上において重要であり、自然を生かした外構整備やインクルーシブな遊具の選定も有効との意見が得られました

## 新交流拠点 | 導入機能・配置計画

分類		事業者の主な意見 ※【】内は発言事業者の業種	検討方向性（※暫定）
導入機能	建物全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示物は一度見たら満足してしまい、リピート来場につながりにくい。そのため、広場を市民の憩いの場として活用し、<b>日常的な利用によるリピートを狙う戦略も有効</b>である。【建設・不動産】</li> <li>流行に左右されず、<b>幅広いターゲットに長期間利用してもらうために、テーマやコンセプトを絞りすぎないのも一案</b>である。【建設・不動産】</li> <li><b>施設コンセプトは一貫性を持たせ、より明確にするべき</b>。計画段階で明確なコンセプトを定めないと、飲食物販の方向性（他との差別化）も定まらない。【運営】</li> <li><b>展示機体は施設コンセプトに基づき決定するのが望ましい</b>。ブルーインパルスは集客効果が高いが、施設内外含め、関連性のない機体や模型を並べると、マニア等から批判される可能性がある。【運営】</li> <li>ターミナルビルから本施設への徒歩アクセスが悪く、市民は目的をもって車で移動する傾向があるため、<b>寄り道感覚で立ち寄り利用は想定しにくい</b>。【建設・不動産】</li> <li>幅広い層が足を運ぶ「<b>目的地</b>」とすることが<b>重要であり、体験型のコンテンツ</b>があることが望ましい。【設計・運営】</li> <li><b>体験型のコンテンツ</b>を作ることが魅力向上につながる。<b>ドラマやアニメとのコラボ</b>も効果的。【金融】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設としての方向性は、<b>目的地性の高いコンテンツ</b>を売りとしつつ、<b>市民の日常利用を促す</b>仕組みを検討</li> <li>具体的なコンセプトについては、<b>事業者間でも意見が分かれており、今後更なる意見交換・ヒアリングが必要</b></li> </ul>
	外構・遊具	<ul style="list-style-type: none"> <li>新交流拠点の屋外スペースは十分広く、<b>整備可能な範囲に応じて多様な提案が可能</b>と考えている。</li> <li>基本設計段階で設置する遊具の種類や費用感を検討することが一般的である。テーマを決めて屋内と屋外の遊具をあわせて検討できると望ましい。【遊具】</li> <li>乳幼児エリアや小学生エリアなど、利用者の年齢層に応じたゾーニングを行うべき。一般的なゾーニングは、<b>2歳までの乳幼児、3～6歳の幼児、6歳以上の子どもに分ける</b>ケースが多い。【遊具】</li> <li>近年は<b>インクルーシブ遊具がトレンド</b>であり、誰でも遊べる遊具の方が選ばれる。【建設・不動産】</li> <li>将来的なPark-PFIの導入も考慮した余地を残しておくべき。【建設・不動産】</li> <li>スポーツや健康促進のコンセプトに対し<b>ウォーキングコースやトレーニング施設</b>があると面白い。【建設・不動産】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>自然環境を活かした空間づくり</b>を検討</li> <li><b>遊具仕様は年齢層に応じたインクルーシブな遊具の選定</b>を検討</li> </ul>
	シミュレータ	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>戦闘機をテーマにしたシミュレーションや、旅客機で都市上空を周遊する体験</b>など、<b>コンテンツのバリエーションは多様</b>。制作にあたっては、コンテンツのリアリティを確保するため、必要に応じて<b>フライトマニュアルなどの技術資料を用意</b>する必要がある。【シミュレーター・VR】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>施設コンセプトに沿ったシミュレータの設置方針</b>を検討</li> </ul>
配置計画	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>有料施設</b>とする場合は<b>出入口を一か所に集約する方が管理</b>しやすく、<b>無料施設</b>とする場合は複数の出入口を設けて<b>内外のシームレスな人の流れを作るべき</b>。寄贈品などにより備品が増える可能性があるため、<b>バックヤードは広く確保</b>するべきである。【運営】</li> <li>キッズスペースや休憩スペースを展示とは別にゾーニングするのではなく、大きな空間内に組み込み、<b>施設全体として利用される施設構成</b>とすることも一案である。【運営】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設コンセプトや方向性等を鑑み、必要に応じ<b>施設設計画等に反映</b></li> </ul>	

# 近年のトレンドとしてフィットネス等のスポーツ需要が確認できました。また、施設コンセプトとともに、両施設のターゲットや役割を明確にすることが必要との意見が得られています

## そらの配置計画、その他

分類		事業者の主な意見 ※【】内は発言事業者の業種	検討方向性（※暫定）
配置計画	体験・にぎわいゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>大人向けアウトドアフィットネスや中高生のたまり場となる若者向けフリーゲーム（多種スポーツ対応フィールド）スペースの提案を最近している。そららと新交流地点の遊具のコンセプトの違いとしてそのようなスペースがあればいいのではないか。「Gruunとこなめ」に老若男女が利用できる施設を整備した事例あり。【遊具】</li> <li>ドッグランやBBQ場などの機能を詰め込みすぎている印象がある。特に、BBQ場とドッグランの距離が近すぎる点が懸念される（※修正済み）。【建設・不動産】</li> <li>BBQ場は規模が小さすぎると利益確保が難しい可能性がある。小規模な施設には目が行き届くなどの利点もあるが、ニーズを考慮しつつ規模や形態を検討すべきである。【建設・不動産】</li> <li>ドッグランにはアジリティ障害物を設置するなど、付加価値を高める工夫も有効で、その場合は有料化も考えられる。【建設・不動産】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設コンセプトや方向性等を鑑み、必要に応じ施設計画等に反映</li> </ul>
	駐車場・イベント・調整池ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場については、アーバンスポーツが可能な設備を整備し、使用していない時間帯や時期には駐車場として活用するという案も検討できるのではないか。【建設・不動産】</li> <li>イベント利用に適した地面は舗装された平坦なアスファルトであり、荷重強度が高いことが望ましい。【建設・不動産】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設コンセプトや方向性等を鑑み、必要に応じ施設計画等に反映</li> </ul>
その他	エリア全体の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民をターゲットとする場合は、平日における地元住民利用を向上させるための工夫が必要。【運営】</li> <li>両施設のターゲットの一貫性が欠如している点、両施設双方に多目的スペースを設置していることに疑問がある。隣接しているため、機能の役割分担は再考した方がよい。【運営】</li> <li>茨城空港の利用者以外の方を呼び込む仕掛けや魅力付けが課題。両施設の連携方策やすみ分けを十分に練っておくことが不可欠。【建設・不動産】</li> <li>茨城空港からの距離が遠く、各施設の誘客・送客の仕組みづくりが重要。【設計】</li> <li>新交流拠点とそらの差別化が十分でない印象。【設計】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的なコンセプトについては、事業者間でも意見が分かれており、今後更なる意見交換・ヒアリングが必要</li> </ul>

### 3. 事業スキーム

# 新交流拠点では従来方式、DB方式又はDBO方式による整備、指定管理による運営の採用を念頭に事業スキームの比較及びサウンディングによる実現性の確認を行いました

## 事業スキームの比較

	従来 + 指定管理方式	DB + O(指定管理)方式	DBO(指定管理)方式
概要	設計・施工の仕様発注、運営の性能発注	設計・施工の性能発注、運営の性能発注	設計・施工・運営の性能発注
スキームの特徴	<p>基本設計    実施設計</p> <p>施工</p> <p>個別・仕様発注</p> <p>運営・維持管理</p> <p>個別・性能発注</p>	<p>設計</p> <p>施工</p> <p>設計施工一括・性能発注</p> <p>運営・維持管理</p> <p>個別・性能発注</p>	<p>設計</p> <p>施工</p> <p>運営・維持管理</p> <p>設計施工運営一括・性能発注</p>
民間ノウハウの発揮余地	行政側で設計・展示等の仕様を決めて発注するため、 <u>民間の創意工夫の余地が小さい</u>	運営視点の反映には工夫が必要だが、性能発注のため、設計施工一括による <u>民間の創意工夫が期待できる</u>	運営も含めた性能発注のため、 <u>民間の創意工夫余地は大きい</u>
展示企画・製作／運営者意見の反映	展示企画・製作が個別発注となるため、設計に反映させる難易度が高い。 <u>運営者の意見を設計内容に盛り込むことは難しい</u>	展示企画・製作を性能発注に包含することで <u>展示企画・製作を反映した設計・施工が可能</u> 。 <u>運営者の意見を設計内容に盛り込むことは難しい</u>	展示企画・製作、運営を一括性能発注することで <u>展示企画・製作や運営者意見を反映した設計・施工が可能</u>
財政負担縮減効果	民間ノウハウによる <u>費用負担の縮減の期待度は低い</u>	設計施工一括化によるコストに留意した設計・施工ができ、 <u>コスト抑制効果が期待できる</u>	設計施工・運営の一括化によるコストに留意した設計・施工ができ、 <u>コスト抑制効果が期待できる</u>
スケジュール	分割発注のため、 <u>複数回の公募が必要</u> 。前業務の把握、意思疎通に他方式よりも時間、労力が必要であり、 <u>工期短縮には繋がり難い</u> 。	設計施工の一括発注により、 <u>発注回数が従来方式より少なくなる</u> 。 <u>公募準備期間が一定必要となる</u> が設計施工期間の圧縮が見込まれる	設計施工・運営の一括発注により <u>発注回数が従来方式より少なくなる</u> 。 <u>公募準備期間が最もかかる</u> が、設計施工期間の圧縮が見込まれる
発注における留意事項	仕様設計のため行政側で詳細まで計画や仕様を作りこむ必要がある。 <u>設計後のプランの見直しが難しい</u> ため、工事積算と市況の乖離による <u>不調リスク</u> がある。	性能設計のため、 <u>民間からのアイデアを引き出すことができ、行政側での検討負荷が低い</u> 。設計施工一括発注のため、 <u>事業者の参画ハードルはやや高いが、不調リスクは低くなる</u>	性能設計のため、 <u>民間からのアイデアを引き出すことができ、行政側での検討負荷が低い</u> 。設計施工・運営一括発注のため、 <u>事業者の参画ハードルは高いが、不調リスクは低くなる</u>

# 前頁の事業手法の比較及びサウンディング結果より、民間ノウハウの活用が期待できるDB+O又はDBO方式での事業化やEOI方式の導入について総合的に検討予定です

## 事業手法に対する導入可能性の確認

【事業手法に対するサウンディング結果】

分類	事業者の主な意見 ※【】内は発言事業者の業種	検討方向性（※暫定）
事業手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>DBO方式と指定管理の併用も検討可能</b>であり、設計施工と施設の維持管理を一括化し、運営は別の事業者が発注するDBM+O方式が最も望ましい。【建設・不動産】</li> <li>• DBO方式の場合、事業期間が長期化し、物価や人件費の高騰リスクを抱えることになるため、<b>工事と指定管理を分離して発注するのが望ましい</b>。【建設・不動産】</li> <li>• DB方式やDBO方式となると設計等との<b>コンソーシアム体制の構築が必要</b>となり、<b>参入ハードルが高くなる</b>。ゼネコンは県内企業が受ける規模である。【建設・不動産】</li> <li>• 設計と施工の<b>責任範囲やリスク分担を明確にできる従来方式</b>が望ましい。【建設・不動産、設計】</li> <li>• 建設物価や労務費の上昇が著しく、積算と工事価格の乖離が起きやすい市況のため、<b>設計施工を一括発注して協議しながら進められるDBが望ましい</b>。DBOも検討できるが<b>運営事業者を確保するハードルが高い</b>。【建設・不動産】</li> <li>• 創意工夫の自由度が高い<b>基本設計からのDBO</b>とし、運営・維持管理は指定管理とするのが望ましい。【建設・不動産】</li> <li>• 運営事業者を探す必要があるが、<b>設計施工運営が一体となるDBOにも挑戦</b>したい。【建設・不動産】</li> <li>• 行政案件では、設計事業者とJVを組み、基本計画を受託するパターンがある。<b>近年はDB、DBO、PFIなどの方式で、他事業者とコンソーシアムを組む事例が増えている</b>。また、遊び場部分のみを対象としたプロポーザル参加もある。【遊具】</li> <li>• <b>従来方式であれば単独で参画判断が可能だが、DB方式及びDBO方式は参加体制構築に時間を要し、参画のハードルが上がる</b>。【運営】</li> <li>• <b>いずれの手法でも大きな違いはないが</b>、昨今はDBOの場合でも設計段階から運営事業者が参画することの負荷が高く十分な工数をかけられない可能性がある。初期段階からの参画に対する報酬が確保されていると参画のハードルが下がる。【運営】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 建設・不動産分野では、全国大手の本事業に対する関心度は低く、<b>県内大手の関心度が高かった</b></li> <li>• 従来方式だけでなく、<b>DB方式及びDBO方式による整備の導入可能性が確認</b>されており、民間ノウハウの活用できる<b>どちらかの手法の採用について、実現性を踏まえて総合的に検討</b></li> <li>• コンソーシアムの代表となる可能性が高い<b>県内大手ゼネコンの意見を統合すると、DBOの可能性もあるが、O分野と組む際のハードルが上がる</b>との意見もあり</li> <li>• 運営者のノウハウを反映することが可能となるよう、<b>EOI方式の導入の是非を検討</b></li> </ul> <p>EOI方式：事業の計画段階から運営（予定）者を選定し、意向を反映する方式</p>

## 4. 実施計画 素案

※別紙をご参照ください

## 5. 新交流拠点

- ① 施設配置計画
- ② デザイン・展示の方向性
- ③ ご議論いただきたい事項

# 建物施設の他に屋外施設として遊具や休憩場所のある広場スペース、茨城空港から移設予定の飛行機2機を設置する展示スペース、遊歩道、駐車場、駐輪場等を設置します

## 全体配置図

出所 (写真) :  
 北九州市大里公園 (<https://kitaq.media/53631/>)  
 稲城市若葉台公園 (<https://inagi-kanko.jp/?p=we-page-entry&spot=257180&cat=17771&pageno=3&type=spot>)

北山池側にオープンスペースを確保。約5mの高低差を円形斜面動線にて無理なくスムーズに移動可能  
 斜面地はイベント時の観客席等にも利用可能な想定



イメージ写真：稲城市若葉台公園

「そららへ」側へのアクセス確保のため、歩道へ接続し、道路側は法面を造成



イメージ写真：北九州市大里公園

既存斜面の造成を最小限にし、斜面地を活かした子供の遊び場・遊具等の公園計画

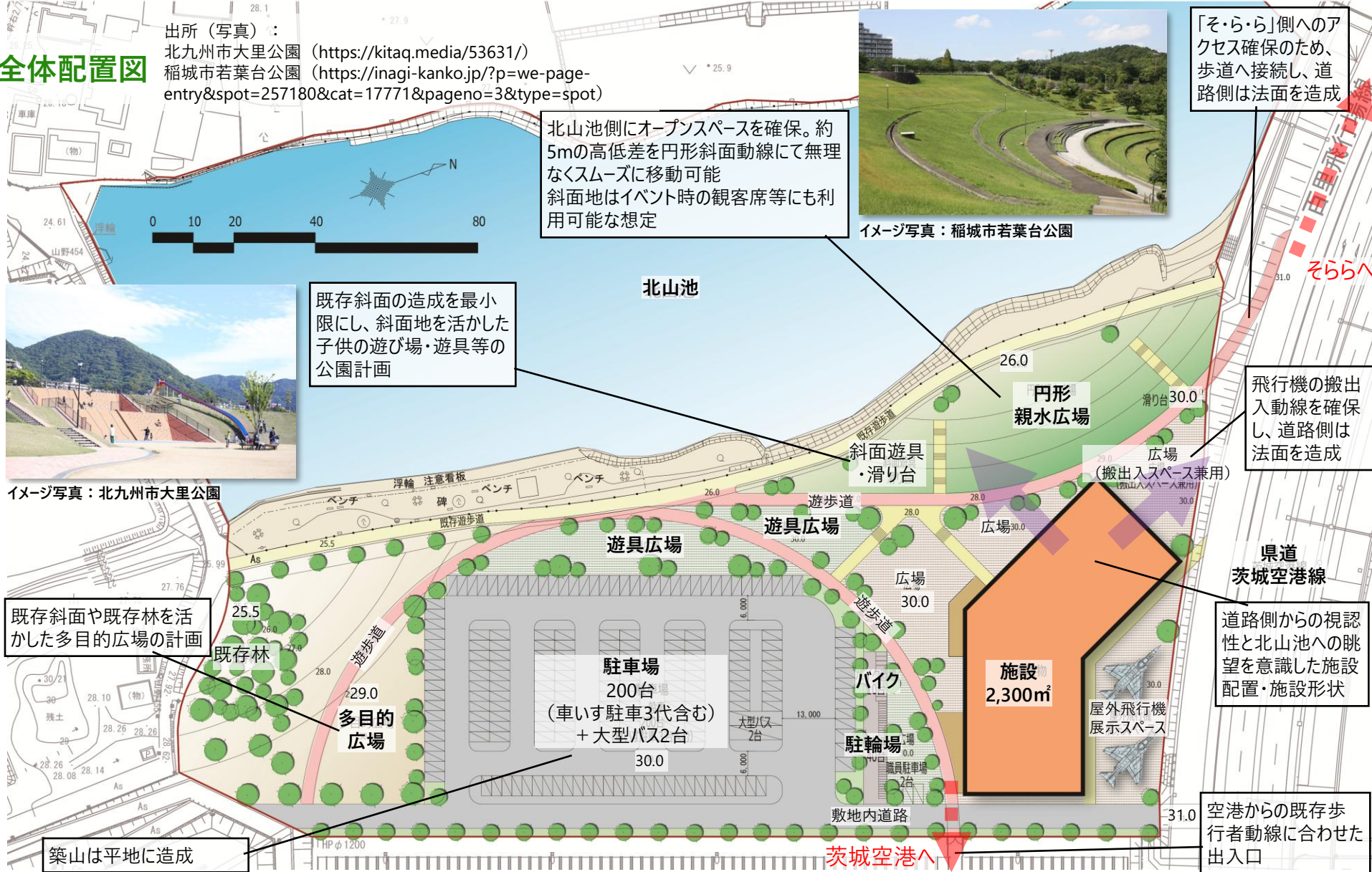
飛行機の搬入動線を確保し、道路側は法面を造成

既存斜面や既存林を活かした多目的広場の計画

道路側からの視認性と北山池への眺望を意識した施設配置・施設形状

築山は平地に造成

空港からの既存歩行者動線に合わせた出入口



施設は、展示スペース、多目的スペース、会議・学習スペース、飲食・物販スペース、休憩・交流スペース、共用スペースから構成され、主な利用イメージと面積は以下の通りです

## 施設構成

施設	利用イメージ	面積
展示スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>飛行機模型（2台）</li> <li>百里基地の役割・歴史等</li> <li>自衛隊の映像資料、模型、装備品等</li> </ul>	580㎡
	<ul style="list-style-type: none"> <li>フライトシミュレーター（2台）</li> <li>VR機器（4台）</li> </ul>	90㎡
	<ul style="list-style-type: none"> <li>VR機器（4台）</li> </ul>	50㎡
	<ul style="list-style-type: none"> <li>VR機器（4台）</li> </ul>	50㎡
多目的スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>自衛隊の活動体験、交流イベント、レセプション、ワークショップ</li> <li>軽度なスポーツ、健康づくりイベント</li> <li>災害時の一時避難 等</li> </ul>	320㎡
会議・学習スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>イス・テーブル・スクリーン等</li> <li>会議室利用、学習教室等の実施 等</li> </ul>	100㎡
飲食・物販スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>軽食・カフェ</li> </ul>	70㎡
	<ul style="list-style-type: none"> <li>売店</li> </ul>	60㎡
共用スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>エントランス、ロビー、トイレ、授乳室</li> <li>受付、事務室、応接室</li> <li>設備室、倉庫、災害備蓄倉庫 等</li> </ul>	840㎡
	<ul style="list-style-type: none"> <li>休憩や食事ができるフリースペース</li> </ul>	140㎡
	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供向けの屋内遊び場</li> </ul>	50㎡
	合計	—



## 具体的な整備・利用イメージ

施設	具体的利用イメージ
展示スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 展示スペースには、<a href="#">百里基地の紹介パネル</a>や<a href="#">映像資料・模型・装備品等</a>の他、百里基地（百里基地の前身である百里原海軍航空隊の飛行場を含む）にゆかりのある<a href="#">飛行機（模型または退役機実機）を2機設置</a>します。</li> <li>▶ 市民・近隣住民のリピート利用、茨城空港利用者や観光客の利用を図るため、<a href="#">戦闘機等のフライトシミュレーター、VR（ヴァーチャルリアリティ）機器等、没入感の強い体験コーナーを充実</a>させます。</li> </ul>
多目的スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 多目的スペースは、<a href="#">市民と自衛隊員の交流を支援する中心的な空間</a>です。<a href="#">自衛隊員や米軍との交流パーティ、レセプション（立食形式で最大200人程度）、自衛隊員の訓練体験等の利用</a>を想定しています。</li> <li>▶ <a href="#">市民が気軽にスポーツや健康づくりの活動、地域の各種イベント等を開催できる場所</a>としての利用も想定しています。</li> <li>▶ <a href="#">災害時の一時避難の場所</a>として使用できるよう、耐震性・安全性を確保した建築計画とします。</li> </ul>
会議・学習スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 地域住民の生涯学習ニーズに応え、多様な市民活動や基地・空港に関連したビジネス利用を支援するため、<a href="#">多目的に活用できる会議・学習スペースを整備</a>します。施設運営者が行う<a href="#">運営会議や研修での利用</a>を基本としつつ、<a href="#">市民団体によるワークショップやセミナー、イベント開催時の控室</a>としての利用も想定しています。</li> <li>▶ <a href="#">地域の教育機関と連携</a>し、小中高生などが小美玉市の地域課題や基地・空港施設、歴史等を探求する<a href="#">フィールドワークや課外学習の拠点</a>としても活用できる環境を提供します。</li> <li>▶ スペースの設えとしては、レイアウト変更が容易な机・椅子に加え、プレゼンテーションやオンライン会議に対応できるスクリーン、プロジェクター等の映像音響装置、高速インターネット環境を完備します。</li> </ul>

### ■ 施設イメージ写真（参考：「soraさかい」兵庫県加西市）



▼ **模型展示**  
戦闘機の実物大模型などを展示



▼ **歴史紹介**  
鶴野飛行場の歴史資料を展示



▼ **会議・学習スペース**  
イベントや講演の際に貸し出し

第2回策定委員会  
資料より抜粋

## 具体的な整備・利用イメージ

施設	具体的利用イメージ
<b>飲食・物販スペース</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 飲食スペースでは、<b>気軽に利用できる軽飲食を中心に提供</b>し、隣接する百里基地や自衛隊にちなんだオリジナルメニュー開発も検討することで、ここでしか味わえない食体験を提供します。</li> <li>▶ 物販スペースでは、<b>主に航空ファンやファミリー層に人気の自衛隊グッズ</b>を取り揃え、当地ならではの幅広い購買ニーズに応えます。</li> <li>▶ 来訪者の利便性向上と施設独自の魅力を創出するため、<b>飲食・物販機能を一体的に整備</b>します。これにより、<b>施設の収益基盤を強化</b>するとともに、自衛隊の理解促進、地域の魅力発信拠点としての役割を担います。</li> </ul>
<b>共用スペース</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 施設の「顔」として来訪者を迎え入れ、誰もが安全・快適に過ごせる空間を創出するため、共用スペースを充実させます。</li> <li>▶ 施設の第一印象を決める<b>エントランス・ロビーは、開放的な設計</b>とすることで、<b>利用者が気軽に入りやすい雰囲気</b>を醸成します。</li> <li>▶ 主要な機能として、<b>受付・案内カウンターを設置</b>し、施設利用に関する情報提供やサポートを行います。また、<b>ユニバーサルデザインを徹底</b>したトイレや授乳室を完備し、高齢者や障がいのある方、子育て世代を含む全ての来訪者が安心して利用できる環境を確保します。</li> <li>▶ 天候に左右されずに<b>休憩や食事ができるフリースペース</b>と、低年齢の子供でも安全に遊べる<b>屋内遊び場（キッズスペース）</b>を設けることで、<b>ファミリー層の滞在満足度を向上</b>させ、施設全体の賑わいの核とします。</li> <li>▶ これらの来訪者向けスペースを支える機能として、円滑な運営に不可欠な事務室、応接室、各種設備室、倉庫を整備します。</li> <li>▶ 加えて、<b>災害発生時に地域住民を支援するための災害備蓄倉庫を設ける</b>ことで、公共施設としての防災拠点機能も担い、平時・有事の両面から地域に貢献します。</li> </ul>

### ■ 施設イメージ写真（参考：「青森県立三沢航空科学館」青森県三沢市）



#### ▶ ミュージアムショップ

航空科学館にちなんだ記念品や珍しい海外グッズ、科学関連グッズを販売

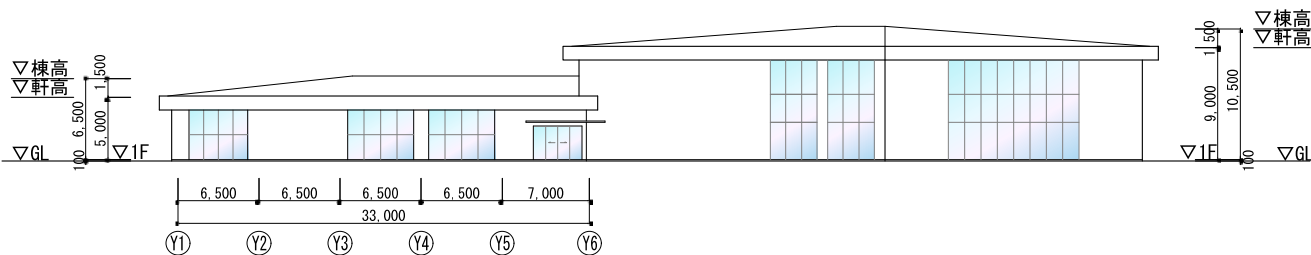
第2回策定委員会  
資料より抜粋



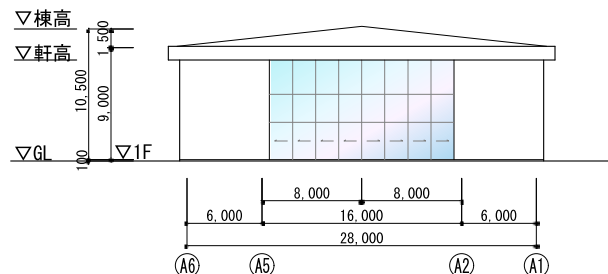
# 委員会時点での新交流拠点立面図を提示します

## 立面図 S=1/600

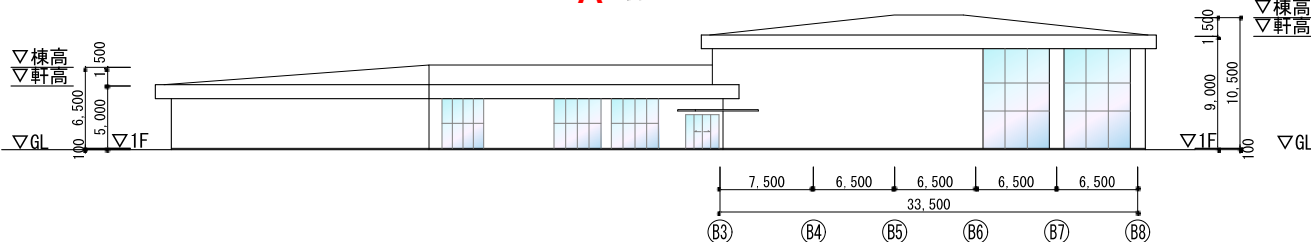
※パースイメージ進捗に伴い、立面図・断面図は変更になるため、途中段階の図面として、参考程度にご参照願います。



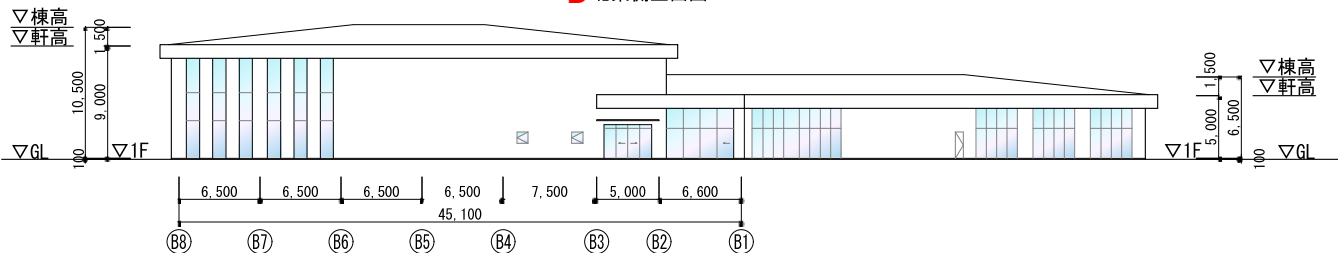
A 北側立面図



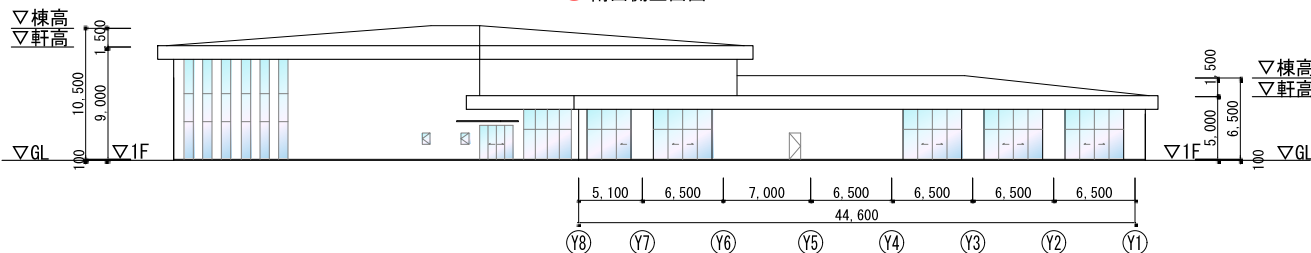
E 北西側立面図



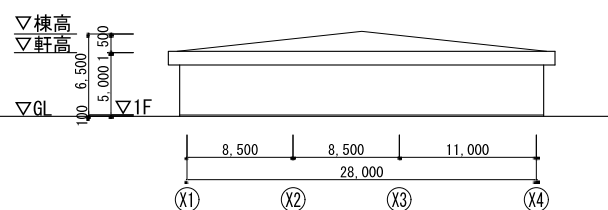
B 北東側立面図



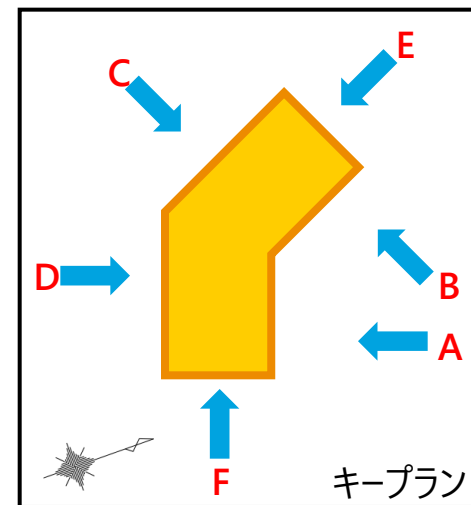
C 南西側立面図



D 南側立面図



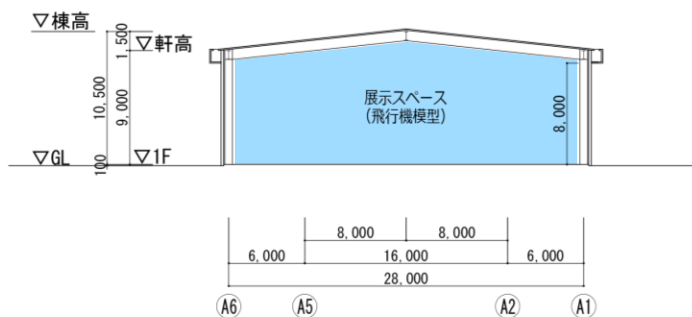
F 東側立面図



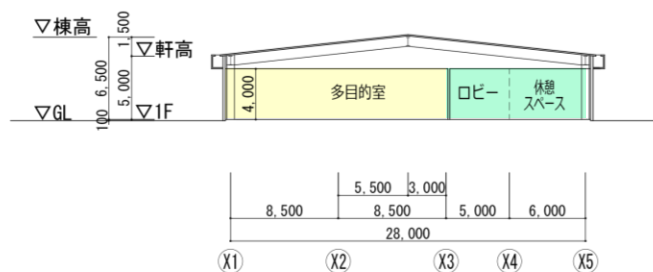
# 委員会時点での新交流拠点断面図を提示します

※パースイメージ進捗に伴い、立面図・断面図は変更になるため、途中段階の図面として、参考程度にご参照願います。

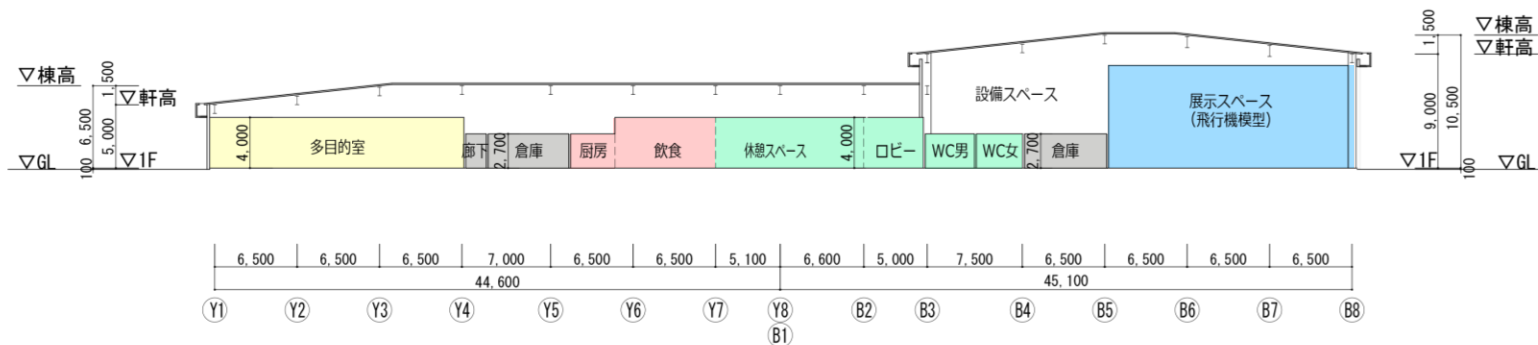
## 断面図 S=1/600



A-A断面図



B-B断面図



C-C断面図





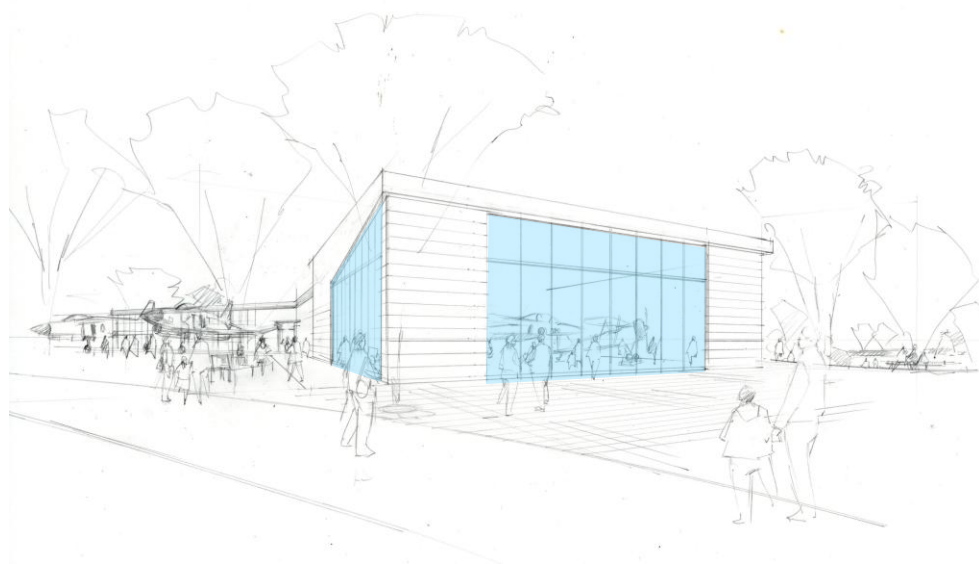
新交流拠点のパースをラフスケッチで提示します。アングルやイメージの概要等についてご確認をお願いします。

## ①鳥瞰パース

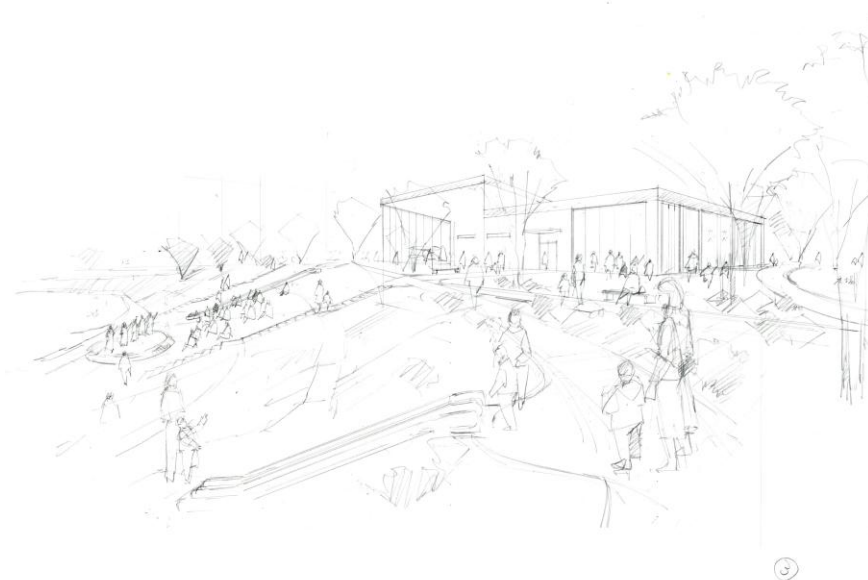


新交流拠点のパースをラフスケッチで提示します。アングルやイメージの概要等についてご確認をお願いします。

②外観アイレベルパース



③外観アイレベルパース

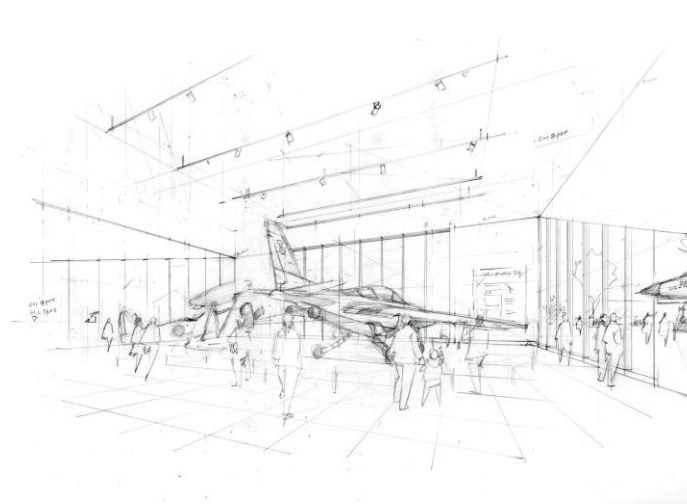


新交流拠点のパスをラフスケッチで提示します。アングルやイメージの概要等についてご確認をお願いします。

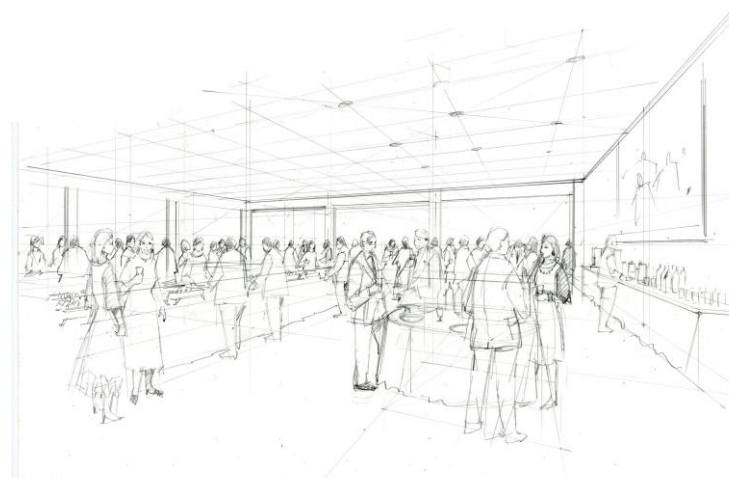
④内観アイレベルパス（ロビー）



⑤内観アイレベルパス（展示スペース）



⑥外観アイレベルパス（多目的スペース）



## 5. 新交流拠点

- ① 施設配置計画
- ② **デザイン・展示の方向性**
- ③ ご議論いただきたい事項

# 新交流拠点の外観デザイン方針を検討するため、事業計画及び施設コンセプト、役割、ターゲット設定よりキーワードを抽出し、外観デザインの基本方針を設定しました

## 外観デザイン計画の考え方の整理

対象施設	新交流拠点
事業計画 コンセプト	<ul style="list-style-type: none"><li>「空」への理解と多様な交流の動機づけの拠点を目指す。 ※「空」：茨城空港、百里基地、航空自衛隊、航空産業等を指す</li></ul>
施設 コンセプト	多様な人々を迎え入れ、知り合い、交流し、憩う ～ 百里ウェルカム・プレイス ～
主たる役割	<ul style="list-style-type: none"><li>百里基地の役割や歴史、自衛隊の活動等への理解を深め、市民と自衛隊員の交流を生む</li><li>スポーツやイベントなど、様々な市民の活動や交流を支援する</li><li>地域の防災拠点</li></ul>
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"><li>小美玉市民、近隣市民、小中学校等の学術機関（校外学習利用）</li><li>自衛隊員、百里基地関係者</li><li>航空分野、航空自衛隊分野等に関心のあるファン</li><li>茨城空港を利用する観光客</li></ul>

### キーワード

- 空港・防衛・航空 = 非日常・スケール感
- 小美玉らしさ = 農・空・広がり・素朴さ
- 交流拠点 = 市民 + 基地 + 健康・レセプション

### 外観デザイン基本方針

- ①「飛行」を直接表現しすぎない（品格と持続性）
  - 戦闘機モチーフを前面に出した“いかにも航空博物館”は避ける
  - 茨城空港アクセス道路側は飛行機そのものが主役 → 建物は「引き立て役」
- ② 駐車場・空港スケールに負けない「横に伸びる建築」
  - 高さと水平ラインのバランス
  - 空港・滑走路・霞ヶ浦・畑の広がりと呼応
- ③ 昼と夜で表情が変わる（昼間・夜間の誘客）
  - 夜間ライトアップをすることで茨城空港との回遊を狙う

# 茨城県景観形成条例の「景観色彩ガイドライン」より敷地周辺の景観タイプは『自然地区』と『住宅地区』に該当し、存在感がありつつ、なじみや落ち着きのある色彩が求められています

## 景観タイプと色彩のあり方

景観タイプ	地区の特徴	色彩のあり方(目標)
自然地区	自然の山や川あるいは湖沼、森林などが主体となっている地区です。土や樹木、水など自然の色彩を主体とした景観色彩となっています。	「保存・融和」が基本的なあり方です。あくまでも主役は茨城県の豊かな自然の景観です。
田園港湾地区	田や畑、山や川、海岸などの自然と人間の営みが程良く入り交じっている地区です。土や作物の色、集落の外壁の色などの色彩が自然と混然となった景観からなっています。	自然に調和した「保存・融和」が目標となりますが、それだけでなく自然と調和した人工美の表現など、自然と人工物とを互いに引き立てる「創生」までを目標とする地区です。
住宅地区	低層の近郊集落、新興住宅地、高層の集合住宅、沿道の住宅地など住宅が主体となっている地区です。屋根や壁、生垣、街路樹などが景観色彩を構成しています。	住宅地区の歴史や性格によって「保存・融和」から「創生」まで幅のある色彩のあり方が考えられます。住民の意識に負うところが大きいのですが、地区の個性づくりに寄与するような色彩のあり方が特に求められます。

業務地区	事務所、公益施設、官庁など業務系の比較的大型の建物が主体となっている地区です。大型の業務ビルの壁面や街路樹、ストリートファニチャーなどが景観色彩を構成しています。	業務地区といっても無機質な色彩ばかりでは人間らしさが損なわれます。一定の範囲で色彩を積極的に用いる「創生」が期待される地区です。
工業地区	小さな工場が集まった地域や工業団地など工場が主体となっている地区です。工場の屋根や外壁など無彩色系の色彩が比較的多いが、自然を背景とした工場も少なくありません。	「創生」から「自由」の範囲で色彩を有効に活用し、活気ある景観作りが期待されます。
商業地区	百貨店、飲食店、映画館など商業系の施設が集まった地区です。建物や屋外広告物など、小面積で様々な色彩を持った景観となっています。	「自由」を色彩のあり方とし、色彩使用の制約が最も少なく、賑わいの演出として積極的な色彩の活用が期待されます。しかし隣接する色彩間の調和が図られることは当然です。

新交流拠点は、自然地区と住宅地区の2つの要素がある地区と推察する

色彩の範囲は「保存・融和」～「創生」の範囲と考えられる

色彩のあり方と景観色彩の特徴

色彩のあり方	保存・融和	創生	自由
調和パターン	同一・近似	類似・中差	対比
色彩の自由度	小		大
周辺との色差	小		大
景観の印象	落ち着き 地味 低彩度 なじみ		賑やか 派手 高彩度 珍しい

「保存・融和」とは -ガイドラインより抜粋-

- 同一・近似調和の手法を用い、対象物を背景からなるべく目立たせないように調和させることを目標としています。落ち着きやなじみややすさが求められる地区に適しています。

「創生」とは -ガイドラインより抜粋-

- 類似・中和調和の手法を使って、対象物に適度な存在感を感じさせるため、背景に調和させながら新たな景観色彩も創造していくことを目標としています。新たに開発されていく地区などに適しています。

# 外観デザインの基本方針を踏まえ、モダンな印象となる案をデザイン方針案として進めています

## デザイン方針案

### ■デザインキーワード

- ・スタイリッシュ
  - ・モダン
  - ・重厚感
- 外観イメージ
- ・陸屋根
  - ・石調、コンクリート等

### ■外装素材参考例（県産材）



稲田石-イナダイシー

出所HP :

[https://japan-stone-center.jp/stone/stone\\_8.html](https://japan-stone-center.jp/stone/stone_8.html)

### ■外観デザイン参考例

#### ポーランド航空博物館



出所HP : <https://klubpodroznikow.com/relacje/polska/muzea/1969-muzeum-lotnictwa>

#### メルボルン マツダオフィス



出所HP : <https://www.officelovin.com/2019/09/a-tour-of-mazdas-new-melbourne-headquarters/>

## (参考) 新交流拠点の周辺施設の外装の色調、形状の状況

そらら



茨城空港



出所HP：空のえきそらら (<https://www.ibarakiguide.jp/spot.php?mode=detail&code=578>)  
茨城空港 (<https://www.ibarakiguide.jp/spot.php?mode=detail&code=546>)

# 屋内に展示する飛行機については、旧百里原航空基地及び百里基地との関連性、歴史学習、認知度を重視すると、以下の2機種が候補として考えられます

## 展示品・模型モデル機体 検討表

	零戦	ブルーインパルス・T-4
百里基地など当地との関係性/ 新施設との親和性	旧百里原航空基地で運用	百里基地に拠点はないが、航空祭で飛行
集客効果	シニア層を主に航空ファンに人気	航空ファン・一般層・子供に広く人気
学習・教育効果	戦争史/技術史の理解に直結	航空自衛隊への興味を喚起
展示希少性	科博廣航空博物館(茨城)を含む全国各地で展示	<ul style="list-style-type: none"> <li>飛行ショー等は頻繁に開催されているが、実寸大模型は無し</li> <li>退役機として浜松広報館に展示</li> </ul>
その他考慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦争を強く想起されることもある</li> <li>製作企業では独自の研究により、芸術的思想で製作している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>退役機が取得出来れば理想的</li> <li>実寸大模型製作も可能だが製作企業より研究が必要との旨のコメントあり</li> </ul>



零戦



ブルーインパルス・T-4

模型展示・VRシミュレーターモデル候補に、現在名前が挙がっている航空機は、用途や運用年代は様々であるものの、いずれの機体も各分野で活躍した代表的な機体です

### 【参考】各飛行機の基本情報

項目	赤とんぼ	零戦	ブルーインパルス・T-4	ファントム
型式・正式名称	九三式中間練習機	零式艦上戦闘機	ブルーインパルス用T-4	F-4 ファントム II
種別	訓練機	戦闘機	曲技飛行	戦闘機・偵察機
設計	海軍航空技術廠	三菱重工	川崎重工	米マクドネル・ダグラス (現：ボーイング)
およそ 全幅×全長×全高	11m×8m×3.2m	12m×9m×3.5m	9.9m×13.0m×4.6m	12m×19m×5m
活動期間	1933-1945	1940-1945	1995-現在	1971-2021 (日本での活動)
主な活動地域	海軍各練習航空隊	中国戦線・ 太平洋各方面	松島基地ほか全国	百里・那覇・千歳・ 新田原 等
特徴	実用機の不足を補うため、特攻機として使用	戦闘機として優れた性能をもち、太平洋戦争初期に活躍	操縦の素直さ・整備のしやすさ・前方視界の広さが特徴	ベトナム戦争にて米国が使用後、西側諸国に提供・売却
展示状況	人吉海軍航空基地資料館（熊本県）にて実物大模型展示中	全国各地で実機・復元機・模型が展示中	熊谷基地やあいち航空ミュージアムで実機展示中	百里基地含む全国各地で展示中

## 5. 新交流拠点

- ① 施設配置計画
- ② デザイン・展示の方向性
- ③ **ご議論いただきたい事項**

## 以下事項につきまして、委員のみなさまのご意見・ご要望をいただけますでしょうか

### ご議論いただきたい事項

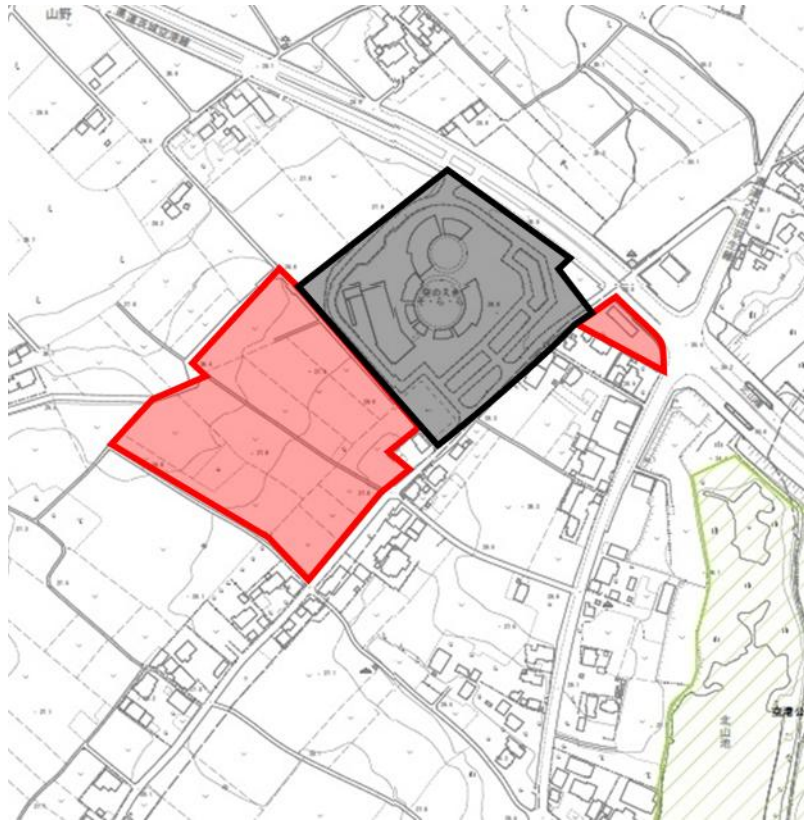
#	大項目	該当ページ	詳細
1	施設整備計画・利用イメージ	P.20~31	<ul style="list-style-type: none"><li>• 新交流拠点の配置計画、建物計画、外構計画及び利用イメージについて、ご意見・ご要望等がありましたらご教示ください。</li></ul>
2	デザイン及び展示の方向性	P.33~38	<ul style="list-style-type: none"><li>• 新交流拠点の外観デザインの方向性について、ご意見・ご要望等がありましたらご教示ください。</li><li>• 新交流拠点に展示する飛行機について、ご意見・ご要望等がありましたらご教示ください。</li></ul>

## 6. 空のえき「そ・ら・ら」

- ① 施設配置計画
- ② デザインの方向性
- ③ ご議論いただきたい事項

# 「そ・ら・ら」の拡張整備計画について、必要駐車台数の見直しに伴い、拡張エリアの範囲を赤枠部分に縮小しました

## 拡張エリアの範囲



基本計画時の拡張エリア  
(赤枠：拡張エリア、黒枠：既存エリア)



実施計画時の拡張エリア  
(赤枠：拡張エリア、黒枠：既存エリア)





## 具体的な整備・利用イメージ

ゾーン	施設	具体的利用イメージ
<b>飲食・ 物販・ 発信</b>	ウェルカムセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ <b>駐車場やエントランスからの視認性を高めるため、既存の外壁をガラスに変更</b>し、来訪者が施設を認知し、利用されやすくなるよう改修します。</li> <li>➤ 施設全体のインフォメーション拠点であるウェルカムセンターは、既存の機能を基本としながら、<b>運営スタッフがより効率的に業務を行えるよう事務スペースを改修</b>します。</li> <li>➤ <b>デジタルサイネージの活用</b>なども視野に入れ、<b>掲示方法を現代的な手法に刷新</b>するとともに、<b>発信すべき観光情報やイベント情報の内容を精査・整備</b>することで、利用者への情報提供機能を強化します。</li> </ul>
	直売所・物産館	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ <b>駐車場やエントランスからの視認性を高めるため、既存の外壁をガラスに変更</b>し、来訪者が施設を認知し、自然と足が向かうよう改修します。</li> <li>➤ 地域の農業振興と物販機能の中核を担う直売所・物産館は、<b>既存エリアを拡張し、より多くの商品を展開できるゆとりある売場スペースを確保</b>します。</li> <li>➤ 商品の搬入や在庫管理といった<b>業務を効率化するため、バックヤード機能の拡充を図ります</b>。なお、商品構成については、今後、生産者や関係団体との協議を踏まえ、<b>本市の魅力を最大限に引き出す魅力あるラインナップの充実に努めます</b>。</li> </ul>
	レストラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 「食」を通じた地域の魅力発信拠点として、<b>茨城県産、特に小美玉市産の新鮮な農産物を積極的に活用した特色ある飲食メニューを提供できる</b>レストラン、カフェ、フードコート等の飲食提供施設を新たに整備します。</li> <li>➤ <b>地産地消を推進し、来訪者に本市ならではの食体験を提供</b>することで、<b>滞在満足度の向上と地域農業への貢献</b>を図ります。</li> </ul>

### ■ 施設イメージ写真（参考：「道のえき常陸大宮～かわプラザ～」茨城県常陸大宮市）

第3回策定委員会  
資料より抜粋



▼ フードコート



▼ えごまラーメン  
(麺屋げんき)



▼ 常陸大宮市産のえごまのジェラート  
(Gelato& Smoothie)

## 具体的な整備・利用イメージ

ゾーン	施設	具体的利用イメージ
飲食・物販・発信	ヨーグルトハウス	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の特産品である「<u>おみたまヨーグルト</u>」を核として、<u>小美玉市の酪農の魅力を五感で味わうことができる</u>ヨーグルトハウスは、安定して高い集客力を誇る重要な施設です。この実績を踏まえ、<u>今後も運営を継続</u>し、小美玉市の「顔」としてその魅力をさらに磨き上げていきます。</li> </ul>
	そららホール	<ul style="list-style-type: none"> <li>そららホールは、平均稼働率が20%を下回る現状に鑑み、<u>より効率的で質の高い運営を目指すため、現在の2区画から1区画へと機能を集約し、規模の適正化を図ります。</u></li> <li>これにより<u>創出されたスペースはテナント</u>とすることとし、飲食機能の充実による施設価値向上に繋がります。</li> </ul>
エントランス	サイクルステーション（新設）	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>近年高まるサイクルツーリズムの需要に対応するため</u>、サイクリストの利便性向上を図る拠点としてサイクルステーションを整備します。安全な駐輪スペースに加え、休憩室、更衣室、トイレを設置し、<u>霞ヶ浦サイクリングロード等、広域からのサイクリスト誘客を促進</u>します。</li> </ul>
体験・にぎわい	ドッグラン（新設）	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペットを「家族の一員」とするライフスタイルの広がりを受け、<u>ペット同伴の来訪者が気軽に立ち寄れるドッグランを整備</u>します。<u>犬の体格別にエリアを分けるなど安全性に配慮した設計</u>とし、<u>新たな利用者層の獲得</u>を目指します。</li> <li>また、<u>飼い主同士の交流の場</u>となることで、新たなコミュニティ形成と施設全体の賑わい創出を図ります。</li> </ul>

### ■ 施設イメージ写真（参考：「道の駅 KOKOくろべ」富山県黒部市、「道のえき あがつま峡」群馬県吾妻郡）



- ▶ サイクルステーション
- 24時間利用可能で、工具・空気入れも貸し出しを行っている



- ▶ ドッグラン
- 敷地面積1,500m<sup>2</sup>の天然芝のドッグラン施設
  - 小型犬エリアとフリーエリアで分かれている
  - 多数のアジリティ施設も設置

## 具体的な整備・利用イメージ

ゾーン	施設	具体的な利用イメージ
体験・にぎわい	イベント広場 (既設・新設)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 既存施設にある「太陽のひろば」については、<u>夏季の猛暑対策や天候に左右されずにイベントが開催できるよう屋根及びミスト装置を設置</u>します。</li> <li>➤ また施設の更なる賑わいを創出するため、<u>拡張エリアに大規模なイベントが開催できる屋根付きのイベント会場を整備</u>します。</li> <li>➤ 既存の「イベントひろば」、「太陽のひろば」では、<u>物販・飲食の利用・買い上げにつながるマルシェや食フェスのような物販・飲食イベント</u>、新設のイベント広場では<u>施設全体の集客につながる音楽イベントや自衛隊百里基地との連携・交流イベント</u>など、それぞれの空間特性を活かした利用を想定します。</li> </ul>
	遊具広場 (新設)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ <u>地域の子育て支援機能を強化し、ファミリー層の日常的な来場を促すため、新たに遊具広場を整備</u>します。子どもたちの冒険心をくすぐる<u>大型の複合遊具を中核</u>とし、<u>多様な年齢の子どもが楽しめるよう安全性に最大限配慮した設計</u>とします。</li> <li>➤ イベント広場に隣接させることで、<u>保護者が見守りながら休憩できる利便性を確保し、家族単位での滞在時間延長</u>を図ります。</li> <li>➤ また市民の健康づくりの観点から、<u>障がいの有無にかかわらず誰もが共に遊べる、運動機能を備えたインクルーシブな健康遊具の導入も検討</u>します。これにより、多様な世代の集客力向上と賑わい創出に繋がります。</li> </ul>

### ■ 施設イメージ写真 (参考:「道の駅 南ふらの」北海道南富良野町)

第3回策定委員会  
資料より抜粋



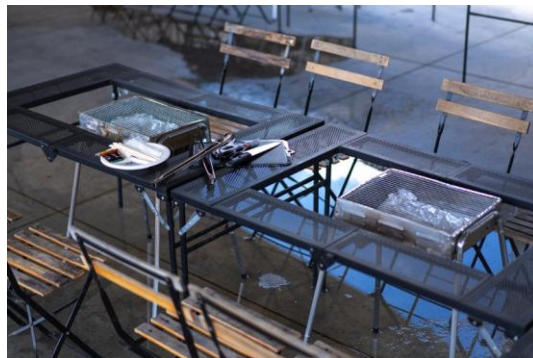
#### ▶ わんぱくツリーアドベンチャー (児童用複合遊具)

- 全長約20mのローラー滑り台を備える巨大複合遊具
- 対象年齢は7歳以上であるが、公園内にはほかにも、3歳～7歳を対象とした複合遊具や高校生以上を対象とした健康遊具等、幅広い年齢層に向けた遊具を設置
- 主に、休日の親子でのお出かけ先としての利用が多く、目的地性の向上に寄与

## 具体的な整備・利用イメージ

ゾーン	施設	具体的な利用イメージ
体験・にぎわい	BBQ場（新設）	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 「食」を通じた<u>体験価値の向上</u>と、<u>新たな利用者層の獲得</u>を目指し、BBQ場を整備します。</li> <li>➢ <u>直売所で購入した新鮮な地場産品</u>をその場で楽しめるよう、<u>機材の貸出等を行い「手ぶら」での利用を可能とする</u>ことで、誰もが気軽に集える環境を提供します。</li> <li>➢ これにより、グループや家族単位での来場を促進し、滞在時間の延長と地域食材の消費拡大に繋がります。</li> </ul>
	体験農園（新設）	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ <u>小美玉市の基幹産業である農業への市民の理解と関心を深める</u>ため、体験農園を新たに整備します。<u>専門家のアドバイスを受けながら、初心者でも気軽に野菜作りを楽しめる区画を提供</u>し、食育を実践する機会を創出します。</li> <li>➢ これにより、<u>地産地消の意識を育む</u>とともに、共同作業を通じて生まれる<u>世代を超えた交流</u>を促し、<u>新たなコミュニティ形成と地域の活性化</u>を図ります。</li> </ul>
	駐車場（拡張）	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 台数計画としては、<u>新たな機能配置やイベント開催時の利用者の増加に対応</u>するため、必要駐車台数（<u>合計約393台程度、大型車・搬入者・職員用含む</u>）を確保します。</li> <li>➢ このうち、拡張エリアにおいて、<u>普通車約197台程度</u>を配置します。「そ・ら・ら」敷地内の駐車場が満車になる場合に備え、現在利用されている<u>臨時駐車場（190台分）についても継続して利用</u>できるようにします。</li> <li>➢ 駐車場は、<u>平日・休日・イベント開催時等、需要に応じて柔軟に活用できるものとし、車中泊などの利用や広場としても転用可能</u>な設えとします。</li> </ul>

### ■ 施設イメージ写真（参考：「道の駅 グランテラス筑西」茨城県筑西市）



第3回策定委員会  
資料より抜粋

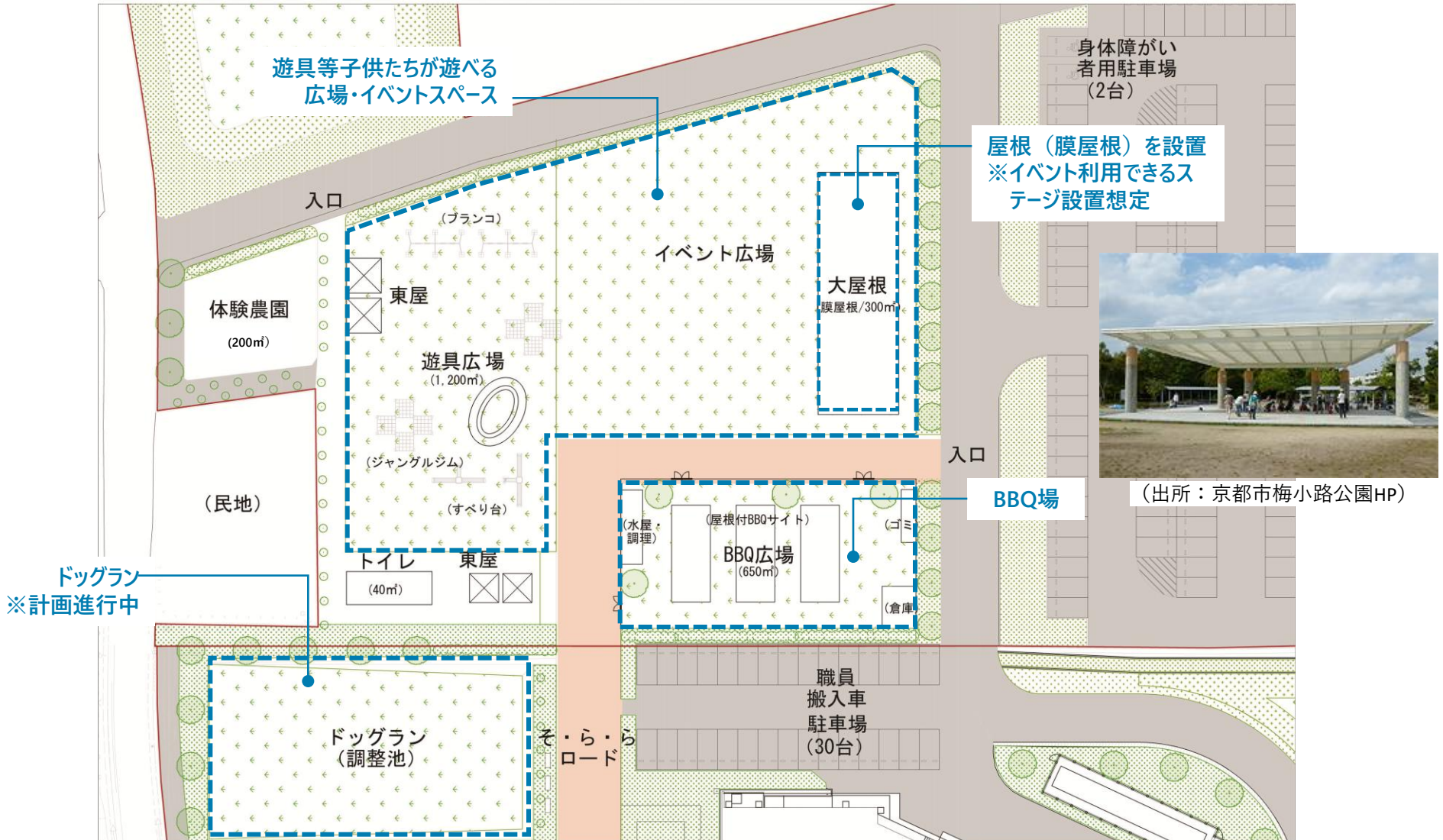
#### ▶ 屋外BBQエリア

- キャンプ場をイメージした空間づくりがなされており、利用者に非日常的な体験を提供している
- 地元食材を多く使用したBBQセットの販売等、地域の魅力の発信に貢献



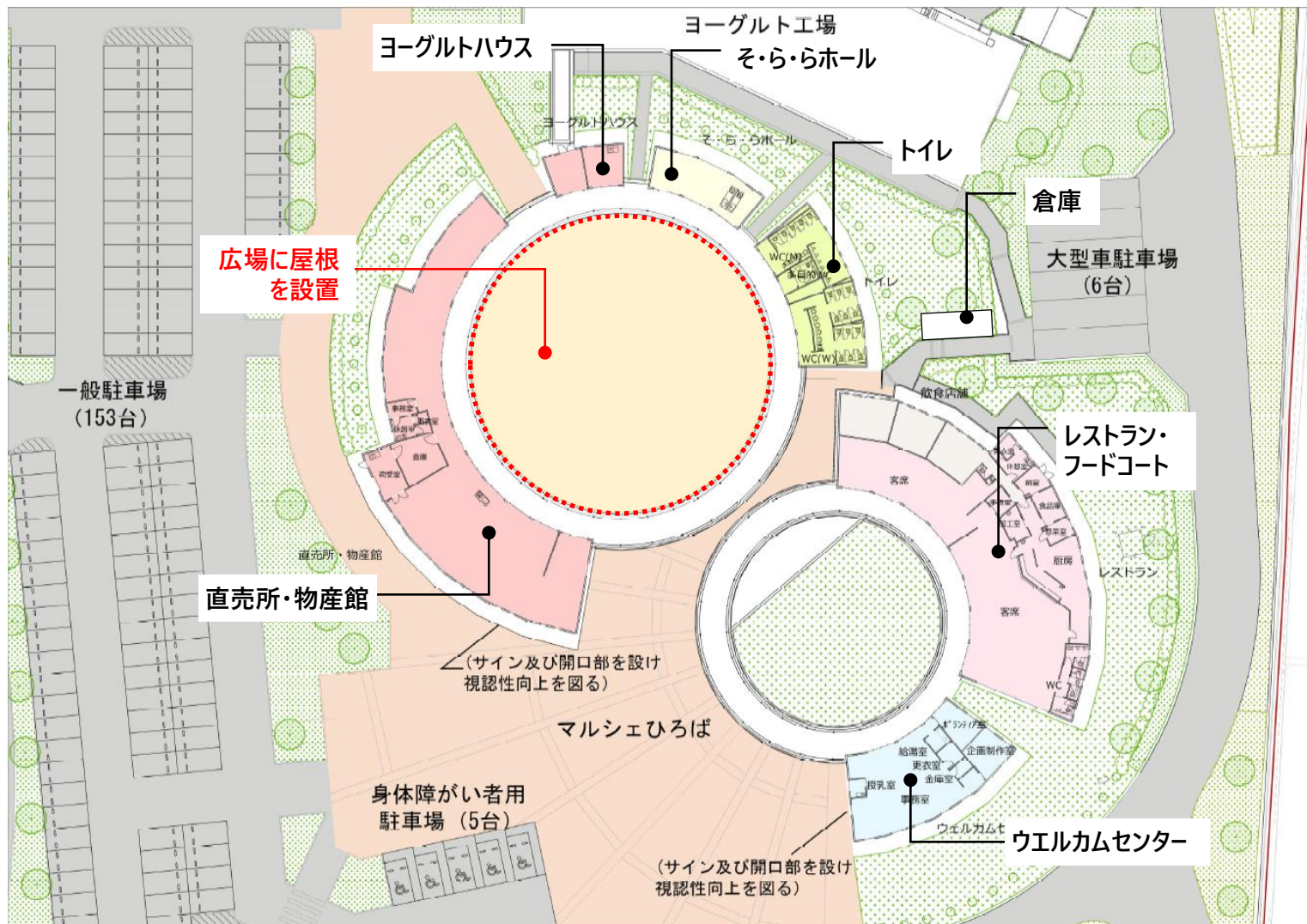
# 「体験・にぎわいゾーン」では、ドッグランに加え、BBQ場や子供たちが遊べる広場、屋根付きスペースを整備し、人々が集いにぎわうゾーンと位置付けます

## そ・ら・ら | 体験・にぎわいゾーン



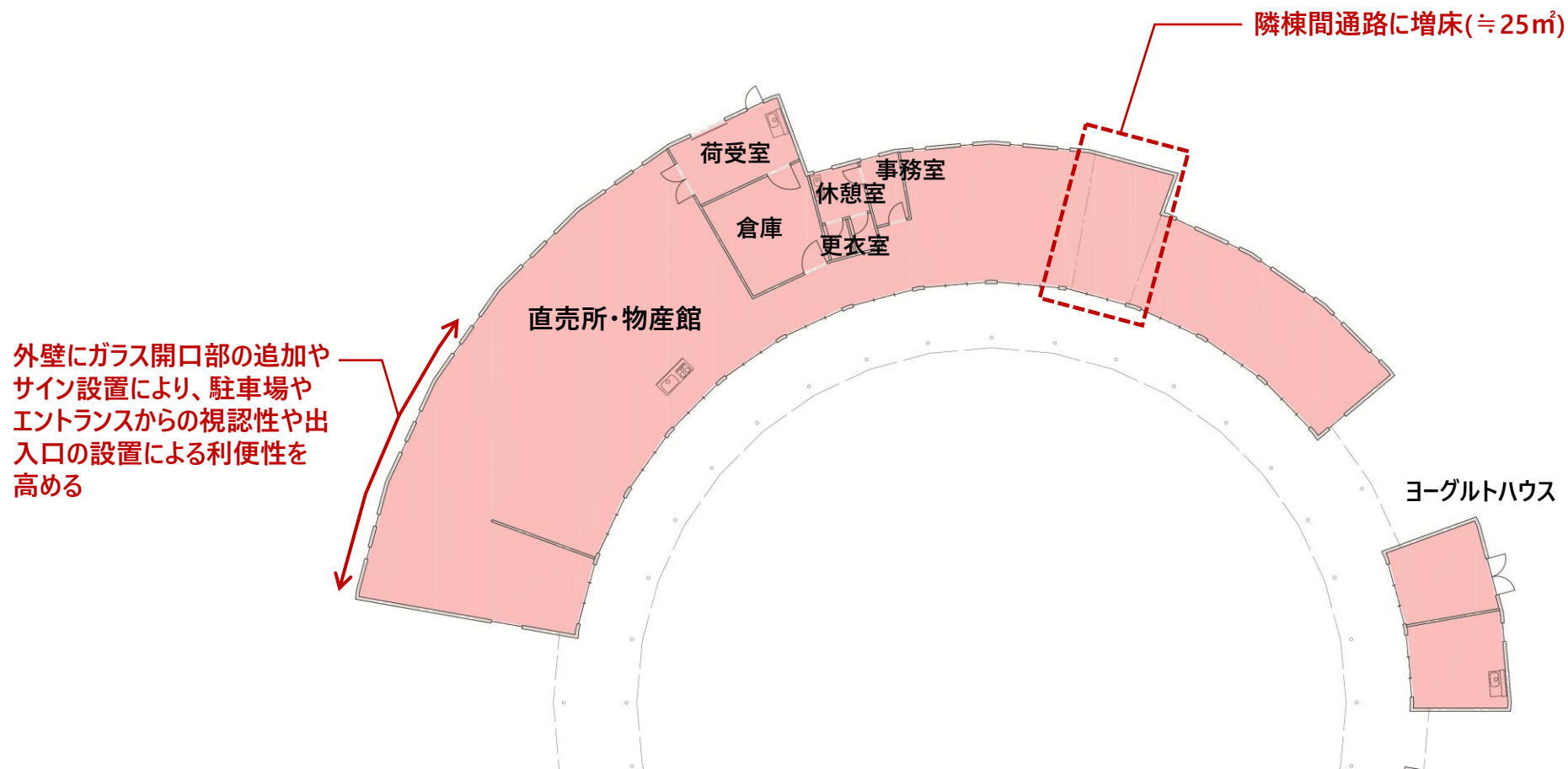
# 「飲食・物販・発信ゾーン」では、直売所・物産館の拡張、飲食・食物販機能の充実化、積極的な情報発信を実施するゾーンと位置付けます

## そ・ら・ら | 飲食・物販・発信ゾーン



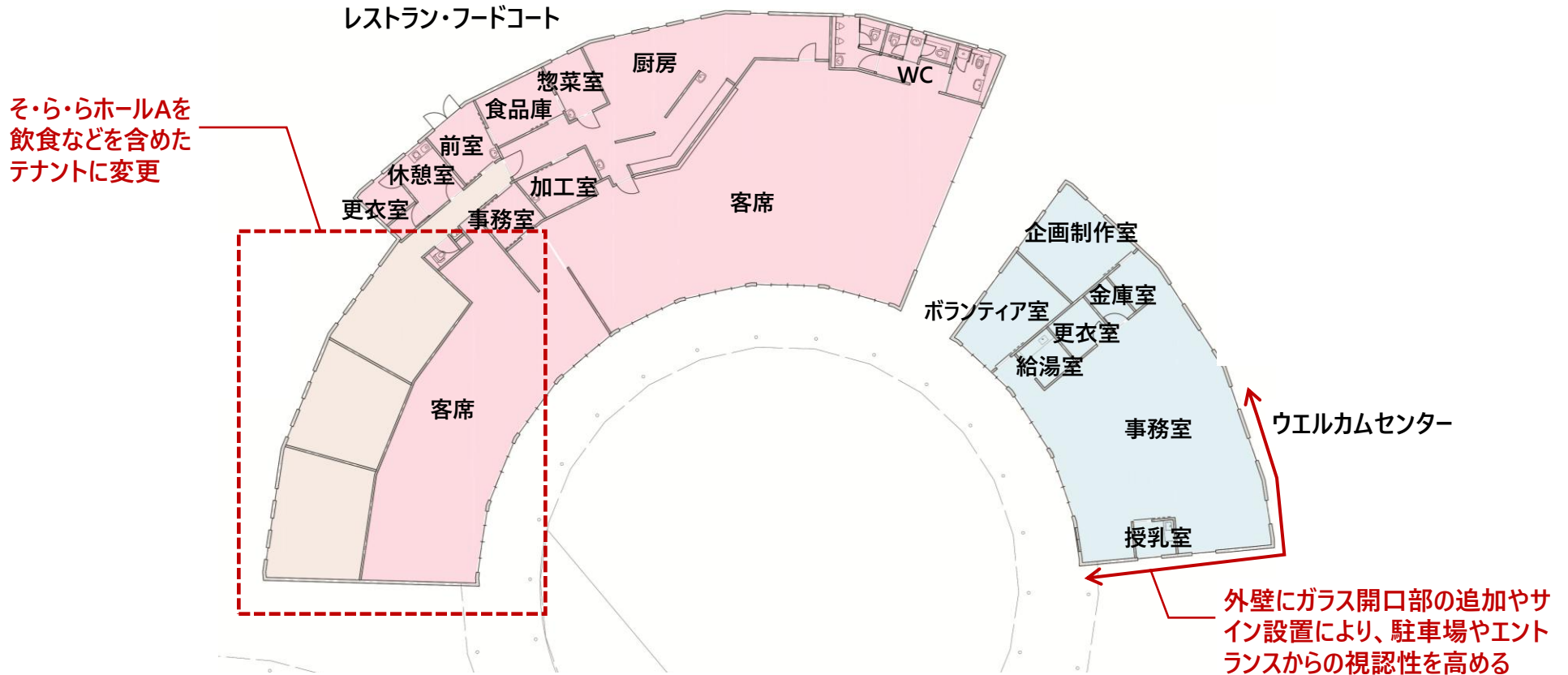
「飲食・物販・発信ゾーン」のうち、直売所・物産館については2つの建物を建物の間を増床することで面積を拡張してゆとりある売場スペースを確保します

## そ・ら・ら | 改修図【直売所・物産館】



「飲食・物販・発信ゾーン」のうち、飲食機能については、そ・ら・らホールAを飲食機能に変更により面積を拡張し、レストラン、カフェ、フードコート等の飲食提供施設を新たに整備します

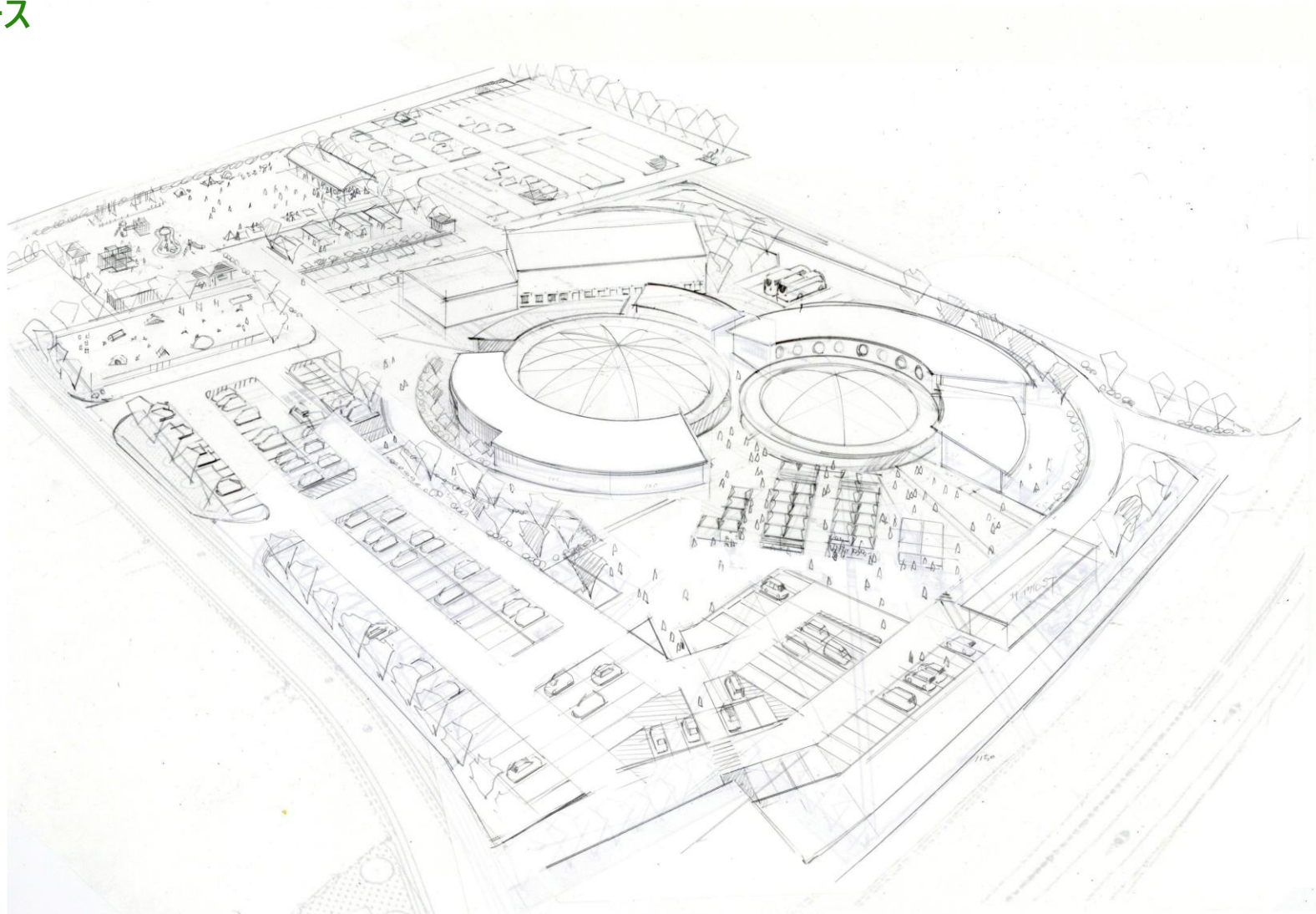
## そ・ら・ら | 改修図【レストラン】





そらのパースをラフスケッチで提示します。アングルやイメージの概要等についてご確認をお願いします。

## ⑦鳥瞰パース



そらのパースをラフスケッチで提示します。アングルやイメージの概要等についてご確認をお願いします。

### ⑧ 外観アイレベルパース

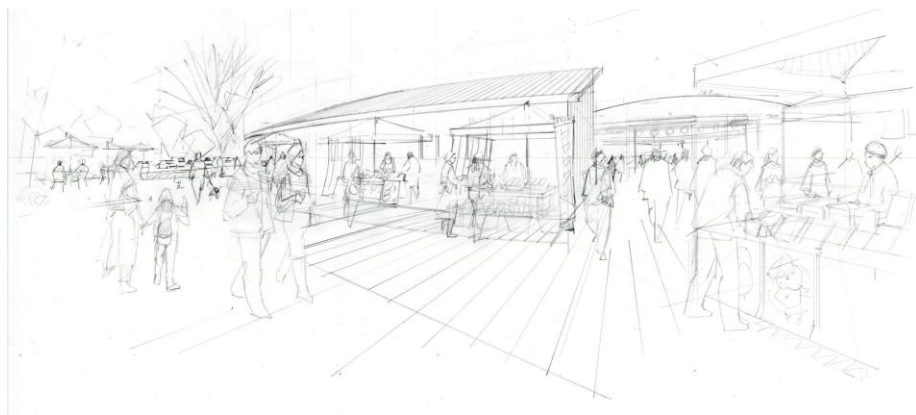


### ⑨ 外観アイレベルパース

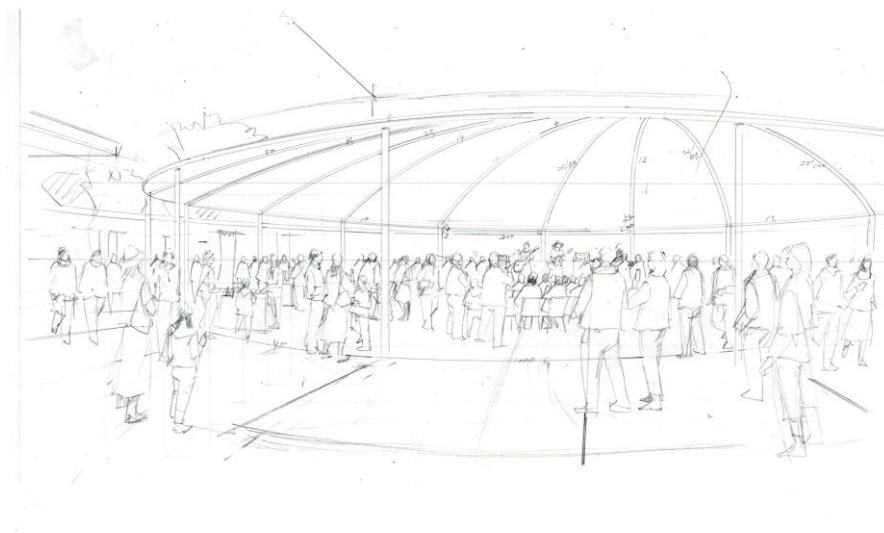


そらのパースをラフスケッチで提示します。アングルやイメージの概要等についてご確認をお願いします。

⑩外観アイレベルパース



⑪外観アイレベルパース（太陽の広場）



No.11

そらのパースをラフスケッチで提示します。アングルやイメージの概要等についてご確認をお願いします。

## ⑫内観アイレベルパース



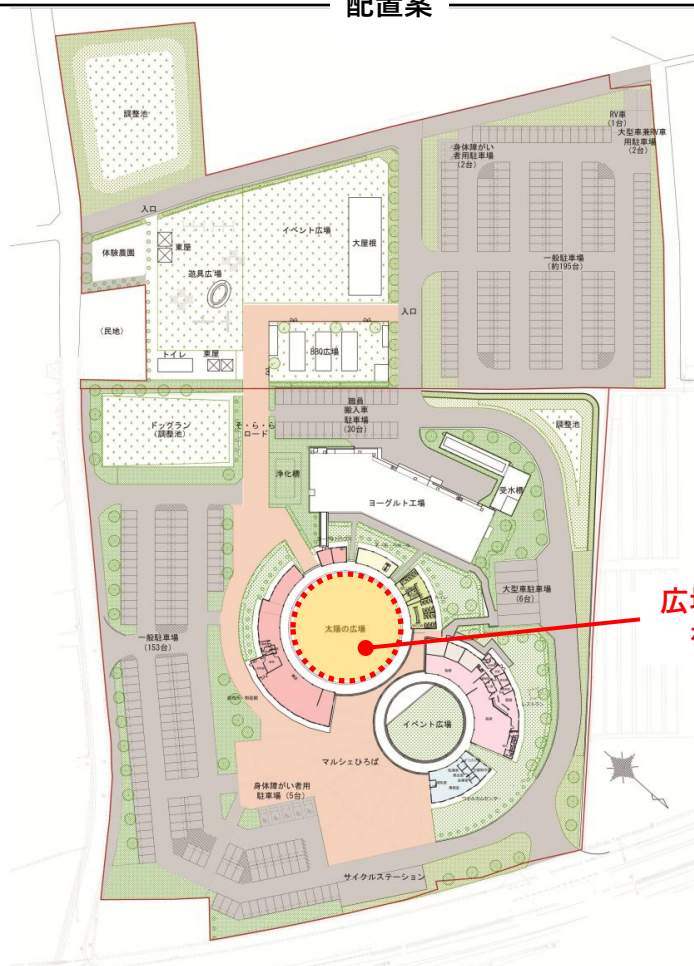
## 6. 空のえき「そ・ら・ら」

- ① 施設配置計画
- ② **デザインの方向性**
- ③ ご議論いただきたい事項

# 「飲食・物販・発信ゾーン」の太陽の広場に膜屋根の設置を予定しています

## 施設計画の再検討 | 飲食・物販・発信ゾーン

### 配置案



広場に屋根  
を設置



西条市市民公園（愛媛県）









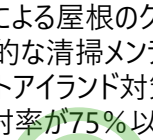
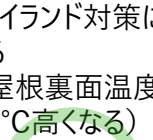
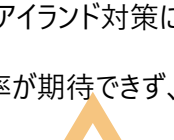
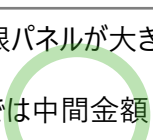
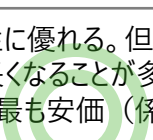
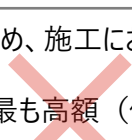
瀬戸町江尻レストパーク（岡山県）



宝が池公園（京都府）

出所：太陽工業パンフレットより

# 広場の屋根材について、①快適性、②耐用年数、③維持管理・運営、④施工性・工事費の観点で比較しました

項目	膜屋根案	鋼板屋根案	ガラス屋根案
	概要	概要	概要
① 快適性	<ul style="list-style-type: none"> <li>拡散光による柔らかい光が得られるため、広場内の明るさを確保できる</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光を透過しないため、広場が終日、暗くなる</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光を透過するため、明るさを確保できるものの、直射日光のため季節によっては快適性が損なわれる。</li> </ul> 
② 耐用年数	<ul style="list-style-type: none"> <li>30年以上</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>20年以上</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>30年以上</li> </ul> 
③ 維持管理・運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>自浄作用による屋根のクリーニング効果により、定期的な清掃メンテナンスが不要</li> <li>夏場のヒートアイランド対策上、有効（日射反射率が75%以上と高く屋根下の温熱環境が良好となる。また、紫外線を大幅に低減する。）</li> <li>紫外線や熱線による影響を受けにくい</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏場のヒートアイランド対策において、膜屋根に対しては劣る（金属屋根の屋根裏面温度は、膜屋根に対して、約9℃高くなる）</li> <li>耐久性は高いものの長期的には錆や腐食の可能性がある</li> <li>表面の塗装面が紫外線により劣化する為、定期的な再塗装が必要</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏場のヒートアイランド対策において、他案より劣る（日射反射率が期待できず、太陽光を透過する）</li> <li>ガラス面に対する定期的な清掃メンテナンスが発生する。</li> <li>サッシのシールが劣化する</li> </ul> 
④ 施工性・工事費	<ul style="list-style-type: none"> <li>軽量で屋根パネルが大きく、施工性に優れる</li> <li>3案の中では中間金額（係数=1.3）</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>軽量で施工性に優れる。但し部材が多く、施工期間が長くなることが多い</li> <li>3案の中では最も安価（係数=1.0）</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガラス素材のため、施工においては十分な注意が必要</li> <li>3案の中では最も高額（係数=2.0）</li> </ul> 

# 「駐車場・イベント広場・調整池ゾーン」は、主に臨時駐車場として利用しつつ、イベント広場としても活用できるよう、両方の用途に適した舗装材を検討しました

## 舗装材候補一覧

素材・舗装方法	主な使用用途	主なメリット	主なデメリット	採択可否
アスファルト舗装	道路・駐車場	耐久性が高い	表面温度が上昇しやすい	○
インターロッキング舗装	駐車場・歩道	デザイン豊富・耐久性が高い・排水性が高い	費用が高い	○
洗い出しコンクリート舗装	駐車場・公園	デザイン豊富・滑りにくい・耐久性が高い	費用が高い・施工が難しい	○
緑化ブロック舗装	駐車場・公園の歩道	デザイン豊富・透水性が高い・表面温度上昇を抑制	芝生部分の維持管理が難しい・耐久性・車両負荷に対応する施工が必要	○
磁器質タイル舗装 (車両対応)	駐車場・庭	デザイン豊富・耐久性が高い	費用が高い・車両負荷に耐える厚物タイルを使用する必要あり・下地設計が重要	△
砕石舗装	駐車場・建物の基礎工事	低コスト・施工が容易・排水性が高い	デザイン豊富・維持管理が難しい	△
モルタル舗装(車両対応)	駐車場・ベランダ	表面が均一	ひび割れやすい・タイヤ痕が残りやすい	△
人工芝	公園	デザイン豊富・維持管理が容易	定期的な張替えが必要・タイヤの摩耗で劣化	×
天然芝	公園	デザイン豊富	芝が枯れる・タイヤの摩耗で劣化	×
ウッドチップ	散策路・路地	透水性が高い・雑草対策の必要がなし	耐久性が低い・車両の負荷でチップが割れる	×
クレイ舗装	園路・歩道	環境負荷が少ない	耐久性が低い・車両の負荷に耐えられない	×
ゴムチップ塗装	遊具周り・運動場	衝撃吸収性が高い・滑りにくい	耐久性が低い・ゴムのおいがする・施工方法によっては車両対応可能	×

# 臨時駐車場兼イベント広場として利用可能な舗装方法のイメージは以下の通りです

## 駐車場兼イベント広場の整備イメージ（1/2）

アスファルト舗装



「あつまれ！はたらくクルマ」  
(イオンタウンふじみ野 駐車場)

インターロッキング舗装



「メタバースザバーティー」  
(サンポート高松 多目的広場)

碎石舗装



保津川左岸の駐車場  
※イベント会場としての利活用シーンは未確認

磁器質タイル舗装



東京ビッグサイト 会議棟前広場

# 臨時駐車場兼イベント広場として利用可能な舗装方法のイメージは以下の通りです

## 駐車場兼イベント広場の整備イメージ (2/2)

### 洗い出しコンクリート舗装



武蔵野森総合スポーツプラザ エントランス  
※イベント会場としての利活用シーンは未確認

### 緑化ブロック舗装



神奈川県某所の  
緑化インターロッキングブロックの駐車場  
※イベント会場としての利活用シーンは未確認

### モルタル舗装



鴨川シーワールド

### 芝生舗装



福岡大名ガーデンシティ

## 6. 空のえき「そ・ら・ら」

- ① 施設配置計画
- ② デザインの方向性
- ③ **ご議論いただきたい事項**

## 以下事項につきまして、委員のみなさまのご意見・ご要望をいただけますでしょうか

### ご議論いただきたい事項

#	大項目	該当ページ	詳細
1	施設整備計画・利用イメージ	P.42~58	・「そ・ら・ら」の配置計画、建物計画、外構計画及び利用イメージについて、ご意見・ご要望等がありましたらご教示ください。
2	デザインの方向性	P.60~64	・「そ・ら・ら」の屋根及び駐車場の舗装材のデザインの方向性について、ご意見・ご要望等がありましたらご教示ください。

## 7. 百里基地・自衛隊との連携

# 新交流拠点は、展示・体験を通じた自衛隊活動への理解促進、さらには市民と自衛隊が日常的に交流する地域再生拠点施設として、交流機能を持つことを想定しています

## 新交流拠点とそららにおける自衛隊等との交流機能の整理

対象施設	新交流拠点	空のえき「そらら」						
交流のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民（自衛隊員を含む）が「百里基地」に触れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民（自衛隊員を含む）が「小美玉市」に触れる</li> </ul>						
施設の主たる利用者の想定	<ul style="list-style-type: none"> <li>小美玉市民、近隣市民、小中学校等の教育機関（校外学習利用）</li> <li>自衛隊員、百里基地関係者</li> <li>航空分野、航空自衛隊分野等に関心のあるファン</li> <li>茨城空港を利用する観光客</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小美玉市民、近隣市民（特にファミリー層）</li> <li>自衛隊員、百里基地関係者</li> <li>茨城空港を利用する観光客</li> <li>ゴルフやキャンプ等のレジャー客、霞ヶ浦等のサイクリスト等</li> </ul>						
交流機能の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示・体験を通じた自衛隊の活動に対する理解促進</li> <li>来訪者に対する情報発信、教育的効果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自衛隊を含む地域に対する理解促進</li> <li>イベントを通じた自衛隊と地域住民の相互交流</li> </ul>						
具体的な交流機能の例	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="505 843 654 1019">展示スペース</td> <td data-bbox="660 843 1228 1019"> <ul style="list-style-type: none"> <li>航空機や百里基地の歴史・活動等の展示</li> <li>自衛隊装備品の展示</li> <li>シミュレーターやVRでの自衛隊訓練体験</li> <li>制服試着体験</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="505 1023 654 1215">会議室・多目的スペース</td> <td data-bbox="660 1023 1228 1215"> <ul style="list-style-type: none"> <li>自衛隊における米軍等の来訪時レセプション・イベント会場</li> <li>航空写真展・パネル展</li> <li>子供向け体験講座（航空力学サイエンス教室、自衛隊QAセッション等）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="505 1219 654 1360">飲食・物販スペース</td> <td data-bbox="660 1219 1228 1360"> <ul style="list-style-type: none"> <li>自衛隊コラボグッズの販売</li> <li>自衛隊に関する紹介パンフ等の配架</li> <li>自衛隊に関連し、理解を深める飲食メニューの体験</li> </ul> </td> </tr> </table>	展示スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>航空機や百里基地の歴史・活動等の展示</li> <li>自衛隊装備品の展示</li> <li>シミュレーターやVRでの自衛隊訓練体験</li> <li>制服試着体験</li> </ul>	会議室・多目的スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>自衛隊における米軍等の来訪時レセプション・イベント会場</li> <li>航空写真展・パネル展</li> <li>子供向け体験講座（航空力学サイエンス教室、自衛隊QAセッション等）</li> </ul>	飲食・物販スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>自衛隊コラボグッズの販売</li> <li>自衛隊に関する紹介パンフ等の配架</li> <li>自衛隊に関連し、理解を深める飲食メニューの体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自衛隊の広報活動</li> <li>自衛隊による防災イベント（防災訓練、ワークショップ、災害派遣の実績紹介）</li> <li>百里基地航空祭における休憩所</li> <li>自衛隊車両・装備の実物展示イベント</li> <li>遊具設置による子育て世代の「小美玉市」に触れる機会の醸成</li> <li>地域物産品による「小美玉市」の紹介</li> <li>自衛隊コラボグッズの販売</li> <li>自衛隊の募集</li> <li>自衛隊に関する紹介パンフ等の配架</li> <li>自衛隊向け観光ツアー・観光情報誌の提供</li> </ul>
展示スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>航空機や百里基地の歴史・活動等の展示</li> <li>自衛隊装備品の展示</li> <li>シミュレーターやVRでの自衛隊訓練体験</li> <li>制服試着体験</li> </ul>							
会議室・多目的スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>自衛隊における米軍等の来訪時レセプション・イベント会場</li> <li>航空写真展・パネル展</li> <li>子供向け体験講座（航空力学サイエンス教室、自衛隊QAセッション等）</li> </ul>							
飲食・物販スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>自衛隊コラボグッズの販売</li> <li>自衛隊に関する紹介パンフ等の配架</li> <li>自衛隊に関連し、理解を深める飲食メニューの体験</li> </ul>							

## 以下事項につきまして、委員のみなさまのご意見・ご要望をいただけますでしょうか

### ご議論いただきたい事項

#	大項目	該当ページ	詳細
1	交流目的、イメージについて	P.68	<ul style="list-style-type: none"><li>百里基地、自衛隊との交流目的、交流の具体的なイメージについて、ご意見・ご要望等がありましたらご教示ください。</li></ul>